

TELEPHONES

Canon
CANON DIGITALPHONE SYSTEM
DIGI410

操作説明書



■本製品は、外国為替及び外国貿易管理法の規定により、戦略物資等
規制対象品に該当します。従って、日本国外へ輸出する場合または
日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく日本政府の輸出許可が
必要となります。

■This product is a "Strategic Product" subject to the COCOM
regulations. It must not be exported without authorization
from the appropriate governmental authorities.

■Ce produit est un "Produit Stratégique" soumis au Contrôle
de la Destination Finale. No pas exporter sans autorisation
des autorités gouvernementales compétentes.

■Dieses Produkt ist ein "Strategisches Produkt" im Sinne der
COCOM-Vereinbarungen. Es darf nicht ohne Genehmigung
der zuständigen Regierungsbehörde exportiert werden.

このたびはキャノン・デジタルホン・システムDIGI 410をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

キャノン・デジタルホン・システムDIGI 410を正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

もくじ

PART1 ご使用のまえに

● システムの概略	7
● 添付品の確認	9
● 電源について	10
● 設置場所について	10
● お手入れについて	10
● 届出と手続	11
● 接続のしかた	12
● 壁かけにする場合	13
● ワンタッチダイヤルシートの取付けかた	13
● 各部の名称とはたらき	14
・ 主装置	14
・ 電話機	15
● ページの見かた	19

PART2 外線でのつかいかた

電話をかけるとき

受話器をとってかけます (外線発信1)	21
受話器をとらずにかけます (外線発信2)	22
ボタン1つでダイヤルします (ワンタッチダイヤル)	23
電話番号を短縮します (短縮ダイヤル)	26
最後にかけた相手にボタン1つでダイヤルします (リダイヤル)	29
通話中に電話番号をメモしてあとでかけます (メモダイヤル)	30

空いている外線がないとき

外線の予約をします (外線予約)	31
------------------	----

不在・話し中のとき

本機が自動的に再ダイヤルします (オートリピートダイヤル)	32
-------------------------------	----

電話をうけるとき

外線からかかってきた電話を受けます(外線応答1).....	34
着信音が鳴っていない電話機で受けます(外線応答2).....	34
留守のとき音声メッセージで答えます(留守応答).....	35
音声メッセージを録音します(メッセージ録音).....	35

保留・転送

外線と通話中の電話を保留します(外線システム保留).....	39
自分の電話機だけで保留します(外線自己保留).....	40
転送について.....	41
設定された外線の相手先に自動的に転送します(外線・外線転送1).....	42
外線の相手先に転送します(外線・外線転送2).....	43
近くに居る内線の人に転送します(外線・内線転送1).....	44
離れている内線の人に転送します(外線・内線転送2).....	46
FAXに転送します(FAX転送).....	47

PART3 内線でのつかいかた

電話をかけるとき

内線へ電話をかけます(内線発信).....	49
音声で相手呼び出します(音声呼出).....	51
内線の相手を一斉に呼び出します(内線一斉呼出).....	52

不在・話し中のとき

相手の電話機に自分の内線番号を残します(メッセージウェイト).....	53
話し中の相手呼び出します(話中呼出).....	54
相手が話し中のとき、通話が終わりしだい呼び出します(内線予約).....	55

電話をうけるとき

内線からかかってきた電話を受けます(内線応答).....	57
着信音が鳴っていない電話機で受けます(内線代理応答).....	57

保留・転送

内線と通話中の電話を保留します(内線システム保留).....	58
近くに居る内線の人に転送します(内線・内線転送1).....	59
離れている内線の人に転送します(内線・内線転送2).....	61
外線の相手先に転送します(内線・外線転送).....	62

PART4 外・内線共通のつかいかた

3人で通話をします(会議通話).....	65
不在のとき自分に電話がかからないようにします(不在設定).....	66
不在のとき設定した電話に転送します(不在転送).....	68

PART5 さらに便利な機能

自分の内線番号と端子番号を確認します(内線番号表示).....	71
ダイヤルボタンを押すと音がします(キーイントーン).....	72
トーン信号を出して各種サービスを受けます(PB信号送出).....	72
電話がかけられる区域を設定します(発信規制).....	73
通話中にかかってきた外線からの電話を知らせてくれます(話中着信).....	74
外線からの電話が1台の電話機に集中してかかるようにします(集中着信).....	74
外線ごとに、受けることのできる電話機を設定します(ダイレクト・イン・ライン).....	75
外線ごとに、着信音の鳴る電話機を設定します(着信鳴動指定).....	76
外線ごとに、着信音の音を変えます(外線別着信音).....	77
警告音を出して長電話を防ぎます(長時間通話警報).....	77
警告音を出して長時間の保留を防ぎます(保留警報).....	78
着信音を外部スピーカから出します(ベル拡声).....	78
受話器をおいたまま通話できます(ハンズフリー通話).....	79
機能ボタンや操作をワンタッチダイヤルボタンに登録します(フレキシブルアサイン).....	80
留守応答、集中着信、外線・外線転送1に使用します(着信モード切替).....	81

PART6 アラーム・ドアホン・構内放送・電卓

指定の時刻に音を鳴らします(アラーム).....	83
ドアホンの相手と通話します(ドアホン).....	85
センサーと連動して警告音を出します(センサーアラーム).....	87
外部スピーカを使って放送します(構内放送).....	88
ディスプレイを使って計算します(電卓).....	89
・各部の名称とはたらき.....	90
・計算のしかた.....	91
・10桁を越えた計算について.....	94

PART7 料金計算と料金表示

通話中の時間と料金を表示します(通話料金表示).....	97
使用料金の累計をメータ表示します(料金メータ表示).....	97
使用料金を集計します(料金集計表示).....	98
料金計算・表示のデータ設定.....	102
料金体系改訂時のデータ設定.....	111
NCC回線使用時のデータ設定.....	115

PART8 ファクシミリの送受信のしかた(Eタイプ電話機)

ファクシミリを受けるとき

通話後ファクシミリの手動受信を行ないます(手動受信).....	121
通話後ファクシミリを呼出して自動受信を行ないます(自動受信1).....	123
ファクシミリを常に自動受信するようにセットします(自動受信2).....	124

ファクシミリを送るとき

通話後ファクシミリの手動送信を行ないます(手動送信).....	125
ファクシミリを操作して送信を行ないます(自動送信).....	127

PART9 データ設定

運用データの設定	129
運用データ項目	131

PART10 その他

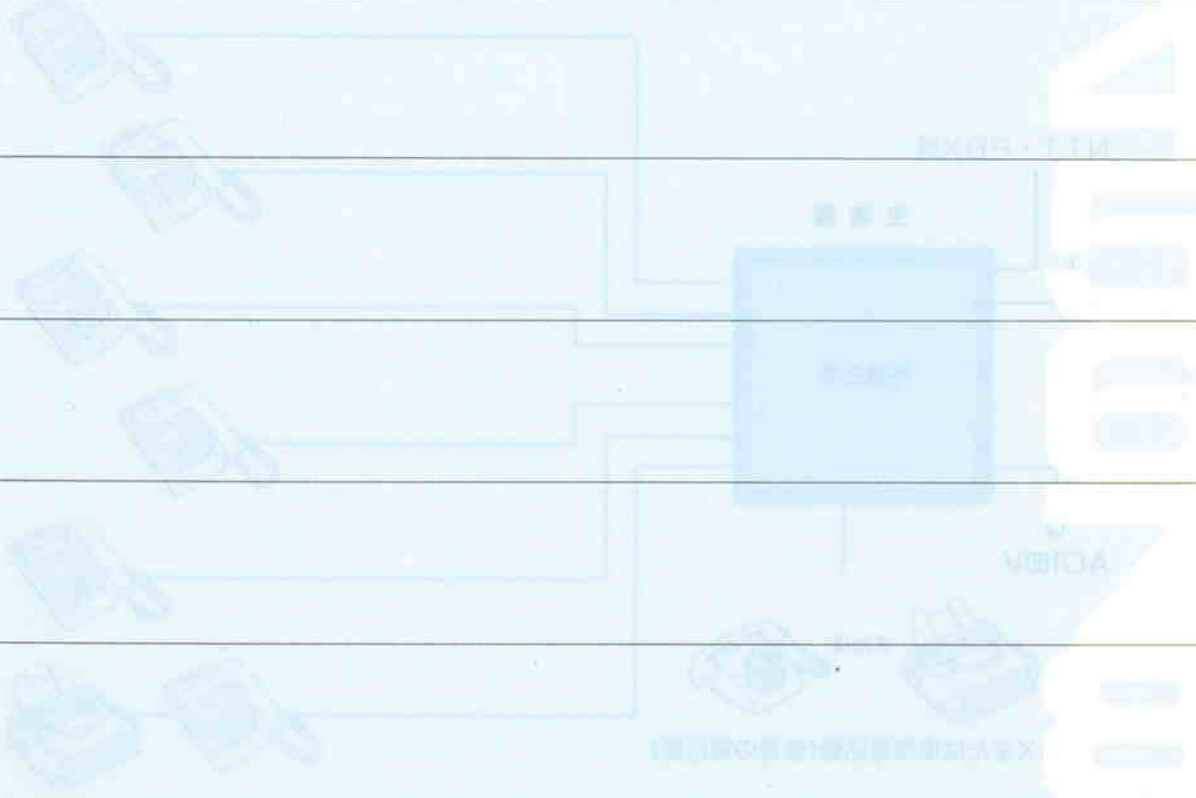
● 停電のとき	139
● 故障かなと思うまえに	139
● さくいん	140
● 主な仕様	142

PART 1



ご使用のまえに

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。本製品は、最新の技術を用いて開発された、高性能な製品です。ご使用前には、必ずお読みください。また、本製品の取り扱いには、必ずお読みください。本製品の保証は、本製品の製造日より起算となります。本製品の保証期間は、本製品の製造日より起算となります。本製品の保証期間は、本製品の製造日より起算となります。本製品の保証期間は、本製品の製造日より起算となります。

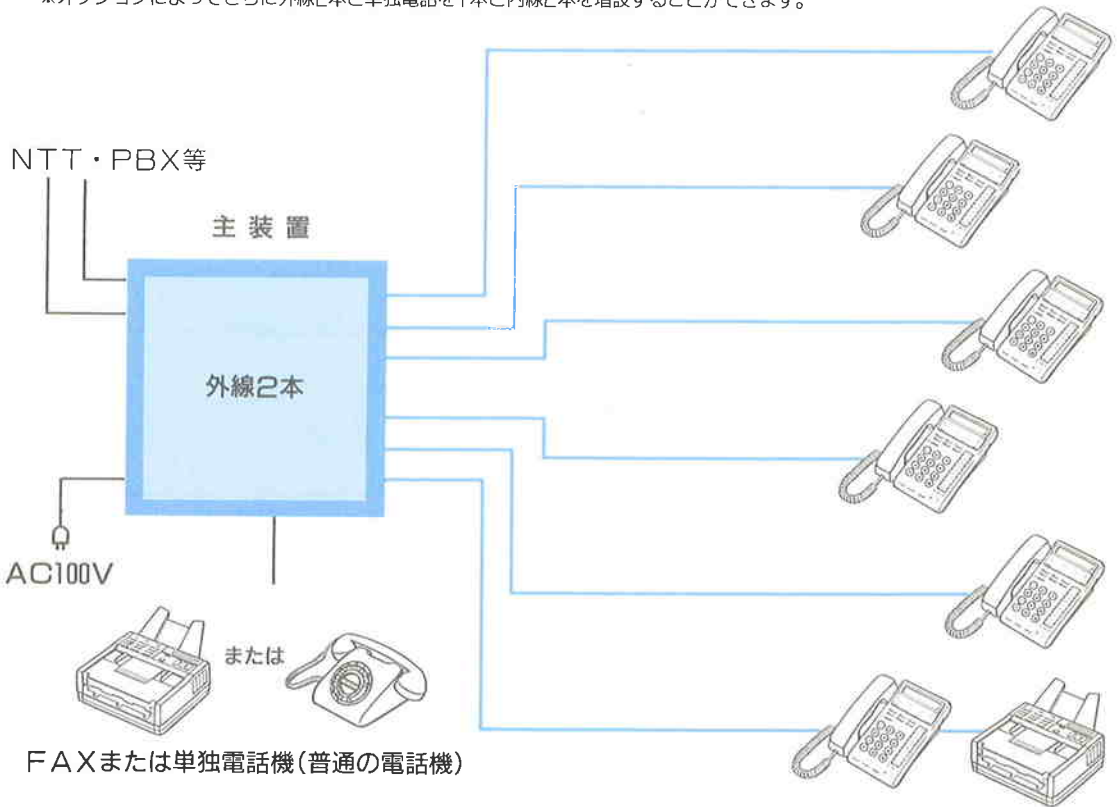


品名	仕様	備考
本体	標準仕様	
電源	標準仕様	
冷却ファン	標準仕様	
ケーブル	標準仕様	
マニュアル	標準仕様	

システムの概略

〈キャノン・デジタルホン・システムDIGI 410〉は、主装置のほかに図のような5種類の電話機があり、この中からお客様の必要に応じたタイプの電話機をお選びいただけます。ただし、ディスプレイのある電話機(B、C、D、Eタイプ)が最低1台必要です。
この操作説明書はBタイプを基準に説明しました。

※オプションによってさらに外線2本と単独電話を1本と内線2本を増設することができます。



★必要に応じてお選びください。

Aタイプ

(標準機
ディスプレイなし)



Bタイプ

(標準機
ディスプレイあり)



Cタイプ

(ハンズフリー機
ディスプレイあり)



Dタイプ

(停電専用機
ディスプレイあり)



Eタイプ

(標準機
FAXアダプタ付)



★この操作説明書の中でのマークについて



Aタイプ電話機についての説明です。



B・C・D・Eタイプ電話機についての説明です。



Eタイプ専用の機能でEタイプ電話機の操作の説明です。



このマークがついている機能はマスター電話機からしか操作できません。どの電話機をマスター電話機にするかは設置時に決定します。詳しくは工事担当者におたずねください。



単独電話機(普通の電話機)についての説明です。

添付品の確認

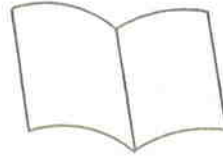
本商品は主装置と電話機で構成されています。
次のものがそろっているか確認してください。

主装置

●取扱説明書



●端末設備
接続請求書



●工事説明書



●壁かけ
金具



●木ネジ4個



●本体



●保証書

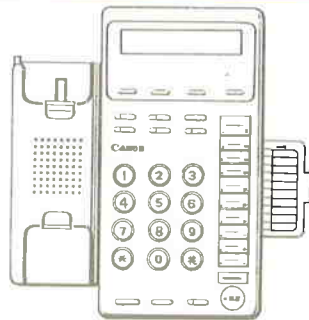


●木ネジ2個

電話機



●受話器+
カールコード



●本体



●壁かけ用
アクセサリ



●木ネジ2個



●ワンタッチダイヤルシート
1枚



●モジュラーコード
(Eタイプ電話機は2本)



●受話器
ハンガー



●ローゼット

電源について (主装置)

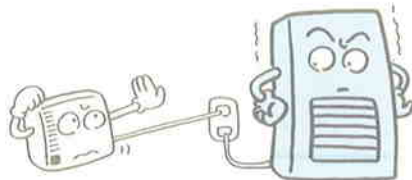
交流 100V の家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。本機は国内用ですので海外ではご使用にできません。



電源プラグは接触不良がないように、コンセントに確実に差し込んでください。また、プラグを抜くときには、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



電源ノイズの大きい系統(たとえば空調機、電動タイプライター等)と電源コンセントの共用は避けてください。

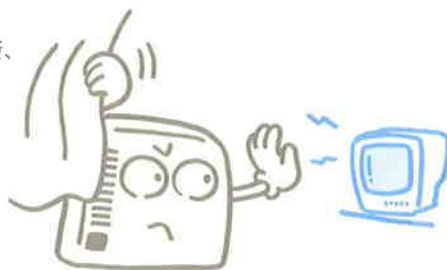


タコ足配線は危険ですので絶対にしないでください。



設置場所等について (主装置および電話機)

- 直射日光のあたる場所やホコリ、振動の多い場所、高温、高湿な場所、本機が落下するおそれのある場所は避けてください。
- 冷・暖房器、高周波ウェルダ、電気溶接機の近くは避けてください。
- テレビ・ラジオなどから2m以上離してご使用ください。
- 主装置の上に物を置かないでください。
- 主装置の前面をカーテン等でおおわないでください。



お手入れについて (主装置および電話機)

柔らかいぬのを水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。
シンナー、ベンジン、アルコール等は変色、故障の原因となりますので使わないでください。



届出と手続

ご使用に際しては、電話局への接続請求が必要です。必要事項を記入のうえ郵送してください。

端末設備接続(変更)請求書の記入のしかた

端末設備接続(変更)請求書

日本電信電話株式会社

契約者氏名 _____

下記のとおり端末設備を設置するので提出します。

記

1. 端末機器名等(新設又は変更後)

番号	機種名	適合認定・型式指定番号等
1	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
2	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
3		

2. 端末機器を取り付ける電話番号 TEL: _____

3. 端末機器を取り付ける場所(住所)

住所 _____

4. 連絡先

故障時の連絡先	会社名 _____	
	氏名 _____	Tel _____
契約者の連絡先等	会社名等 _____	
	氏名 _____	Tel _____
工事担当者名	_____	Tel _____

5. 使用開始年月日 _____ 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

● 契約者氏名

電話局に契約申込みをした時の契約者(名義人)です(通常は世帯主です)。必ずなつ印してください。

● 端末機器を取付ける電話番号

電話番号を記入してください。

● 端末機器を取付ける場所

住所を記入してください。

● 連絡先

故障時の連絡先…お買い上げの販売店名と販売担当者、電話番号を記入してください。
契約者の連絡先…この請求書を提出する契約者の勤務先(自営の場合、店名等)、お名前、電話番号を記入してください。
工事担当者名…販売店にご相談ください。

● 使用開始日

使用開始日の希望日を記入してください。

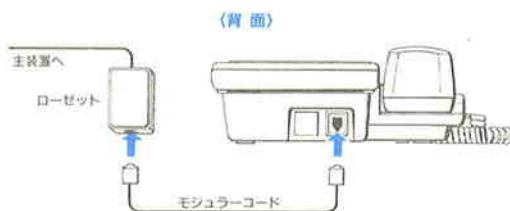
〈表面〉

- 宛先 電話料金の領収書、電話番号簿等でお客さまの電話局を確認して、記入してください。
- 切手 必ず切手をお貼りください。

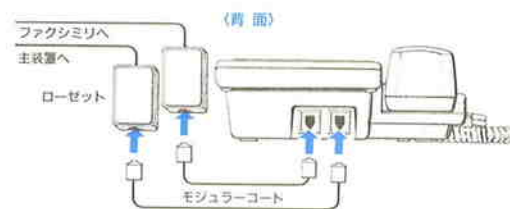
接続のしかた

電話機と ローゼットの接続

A～Dタイプ電話機



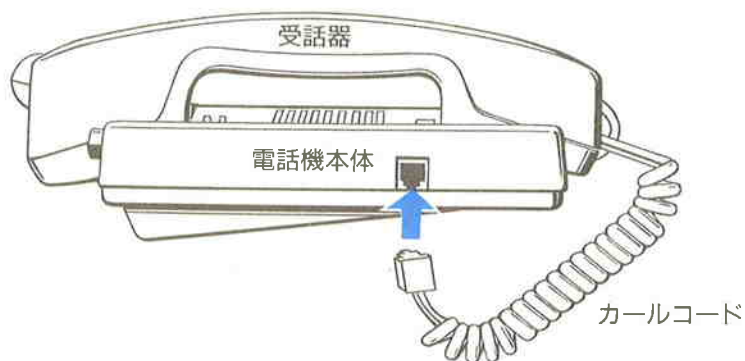
Eタイプ電話機



●モジュラーコードは必ず添付品のものをご使用ください。

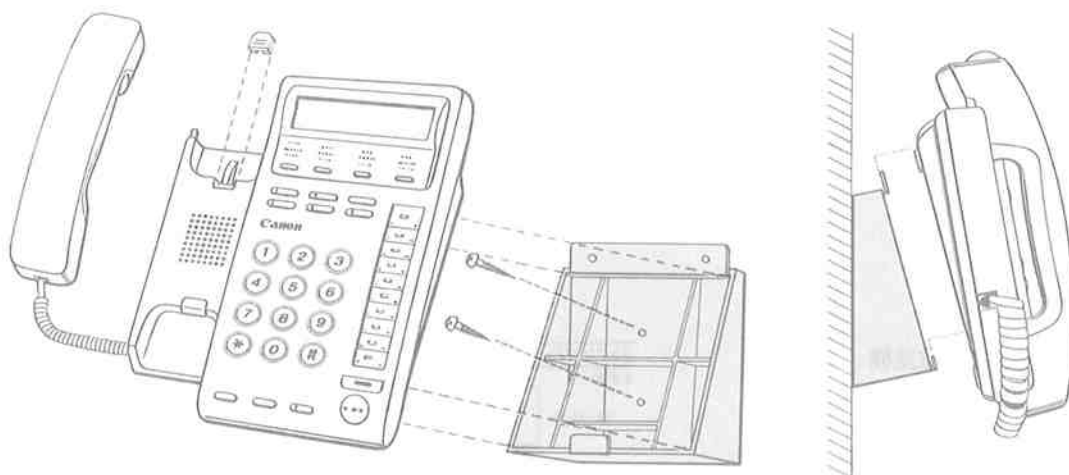
電話機本体と 受話器の接続

〈側面〉



壁かけにする場合

どのタイプの電話機も壁かけ用として使用できます。現在付いているフックを付属の受話器ハンガーに付け替えてください。



ワンタッチダイヤル シートの取り付けかた

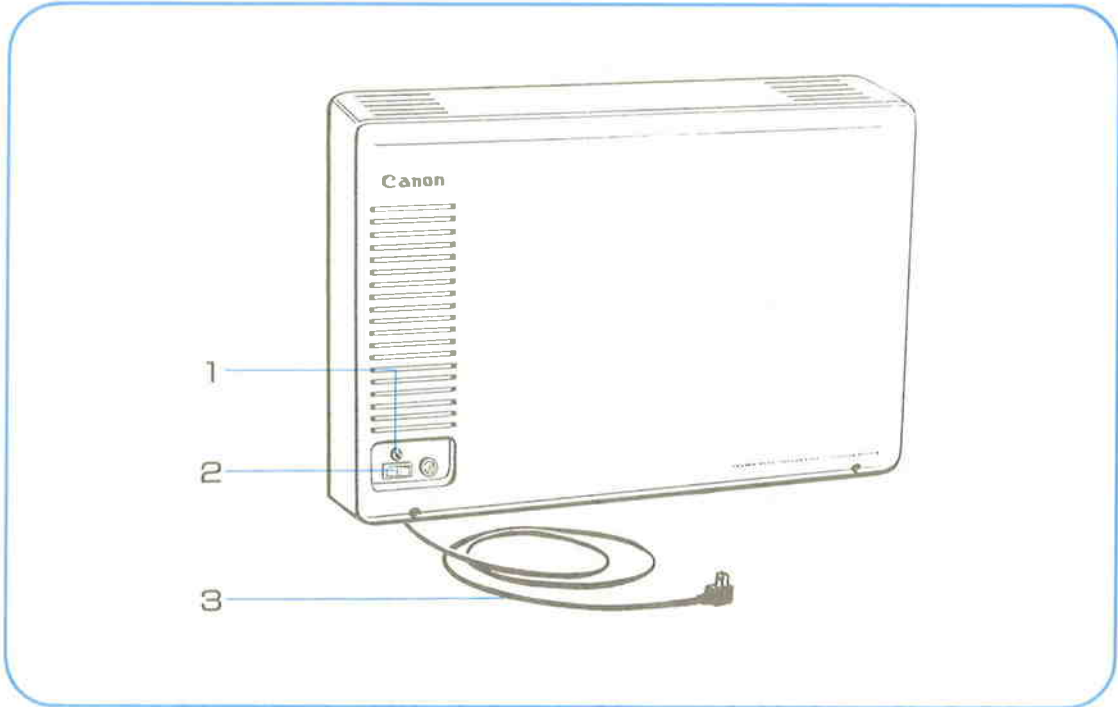
本機にはワンタッチダイヤルシートが、電話機1台につき2枚入っています。

鉛筆またはボールペンで、相手先を書いて図のように差し込んでください。

引き出すときにはシートの先端をつまんで引き出してください。

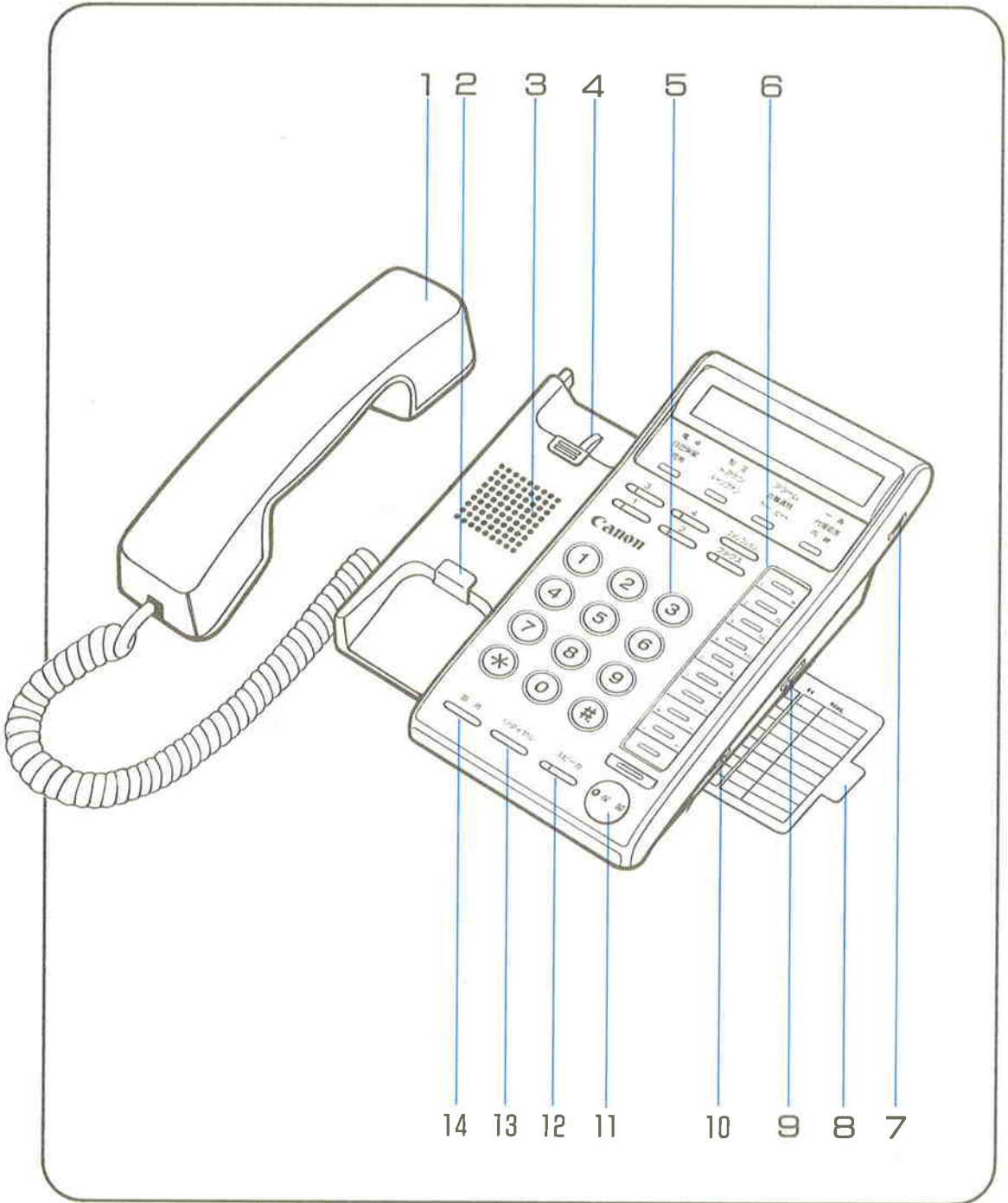


各部の名称とはたらき (主装置)

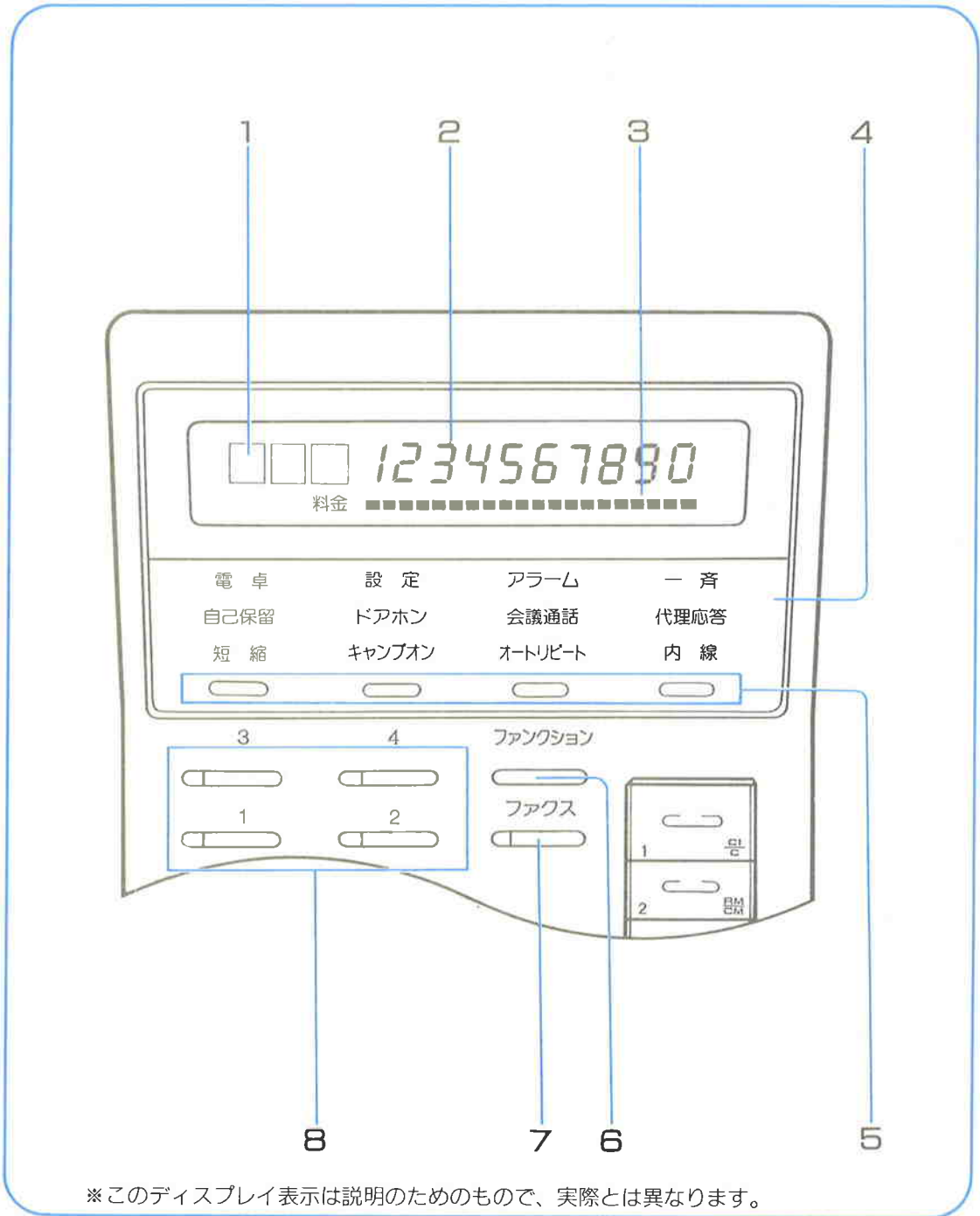


番号	名称	はたらき
1	電源ランプ	電源が入ると、緑色に点灯します。
2	電源スイッチ	電源のON・OFFを切り換えます。
3	電源コード	プラグを交流100Vの家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。


各部の名称とはたらき (電話機)



番号	名称	はたらき
1	受話器	通話のとき使用します。
2	受話音量調整ボタン	外線と通話をしているときに受話器から聞こえる音を調整します。1回押すと大きくなり、さらにもう1回押すともともどります。
3	スピーカ	スピーカ受話時に相手の声が聞こえます。 また警告音なども聞こえます。
4	フックボタン	通話を切るときに使用します。 またフッキングにも使用します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや、ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録などに使用します。
6	ワンタッチダイヤルボタン	ワンタッチダイヤルで電話をかけるときに使用します。 Cタイプ電話機(ハンズフリー機)は、ワンタッチダイヤルボタン10がマイクボタンになり、マイクのON・OFFを切替えます。
7	ディスプレイ表示濃度調整器	ディスプレイの液晶画面濃度を調整します。 (漢字表示部分のみ) 上に回すと濃く、下に回すと薄くなります。
8	短縮ダイヤルシート	短縮ダイヤルの番号と相手先をメモしておくとう便利です。
9	着信音量調整ボリューム	着信音の音量を調整します。 手前にするほど小さくなります。
10	スピーカ音量調整ボリューム	スピーカの音量を調整します。 手前にするほど小さくなります。
11	保留ボタン	通話を一時保留するときに使用します。
	保留ランプ	赤色・点灯……自分が外線を保留したときや内線保留中のとき 赤色・点滅……他人が内線保留中のとき
12	スピーカボタン	受話器をとらずにダイヤルすることができます。
	スピーカランプ	赤色・点灯 スピーカON ただし、Cタイプの電話機(ハンズフリー機)は、マイクがONになっている場合は緑色に点灯します。
13	リダイヤルボタン	最後にかけた外線の相手にもう一度かけるときに使用します。
14	取消ボタン	ダイヤルを途中で間違ったときや、登録の内容を取り消すときに使用します。



※このディスプレイ表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

番号	名称	はたらき
1	漢字ディスプレイ	“外線” “内線” “呼出中”などが表示されます。
2	数字ディスプレイ	電話番号・通話時間・料金などが表示されます。 10桁までの数字が表示されます。 通常は日付と時刻を表示します。 
3	料金メーター	10個の“--”で、電話の料金を表示します。 “--”で1000円を表わします(この値は変更できます)。
4	機能表示パネル/ ランプ	12種(A、Eタイプ電話機は電卓機能を除いた11種)の機能が表示してあります。 ファンクションボタンを押すと、ランプの点灯位置が変わります。
5	選択ボタン	機能表示パネルにある機能の選択に使用します。 ファンクションボタンで実行したい機能の列を点灯させて、機能の下にある選択ボタンを押します。
6	ファンクションボタン	機能表示パネルにある機能の選択に使用します。 1回押すごとに、ランプの点灯位置が移動します。
7	ファクスボタン	A~Dタイプ電話機：ファクシミリを主装置に接続されたファクシミリへ転送するときに使います。 Eタイプ電話機：Eタイプ電話機に接続されたファクシミリを使ってファクシミリの送受信をするときに使います。
	ファクスランプ	A~Dタイプ電話機： 赤色・点滅……ファクシミリ転送中 赤色・点灯……ファクシミリ通信中 Eタイプ電話機： 赤色・速い点滅……回線をファクシミリに切替え中 赤色・点滅……ファクシミリを呼出し中、またはファクシミリ通信中 赤色・点灯……自動受信モードをセットしているとき
8	外線ボタン	外線に電話をかけるときに使用します。 外線の接続されていない外線ボタンは、ワンタッチダイヤルボタンと同じ機能になります。
	外線ランプ	緑色・点灯……自分が使用中 緑色・点滅……自分が保留中 緑色・速い点滅……保留警報中 赤色・点灯……他人が保留中 赤色・点滅……他人が保留中 赤色・速い点滅……着信中

ページの見たかた

タイトル

電話の操作を大きく5種類に分けてあります

別売のオプションが必要です

この機能を使用する前にデータ設定が必要です

操作説明

機能説明のイラスト

機能名称

機能の説明

使用できる電話機の種別(→P. 8)

機能表示ランプの位置

ディスプレイ表示

注意事項

電話をかけるとき

ボタン1つでダイヤルします

オプション データ設定



ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルは相手番号のワンタッチダイヤルボタンを押すだけでダイヤルできます。ワンタッチダイヤルは市販機1台ごとに1回まで登録できます。

1 受話器をとらずにランプの消えている 外線：ボタンを押します。

2 ワンタッチダイヤルボタンを押します。

3 相手がたら受話器をとってお話しください。

ご注意

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときには、スピーカボタン(青色)の口を押すと音は流れず、
- 1ダイヤル電話機(ワンフリー機)は、ワンタッチダイヤルの一部のボタンがマイクボタンになり、ワンタッチダイヤルの登録はできません。



※このページは説明のためのもので、実際にはありません。

上野公園

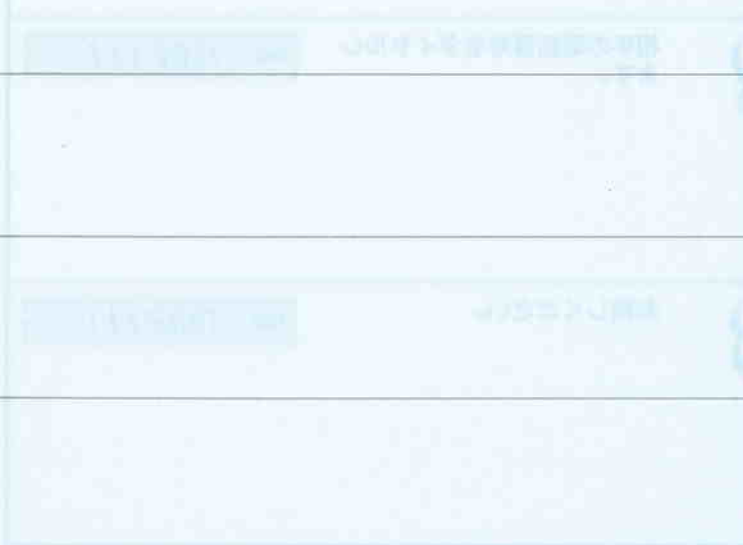
アピタお茶屋
お茶屋



PART

2

外線での使い方



1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
*
#

受話器をとって かけます

外線発信 1

外線の相手へ電話をかけるときの操作です。



	受話器をとります。	外線
	相手の電話番号をダイヤルします。	外線 7582111
	お話しください。	外線 7582111

ご注意




- 本機は受話器をあげたときに外線につながるように設定されていますが、データ設定(プログラム No.030~039)によって受話器をあげたときに内線に直接つながるようにもできます。
- 内線に直接つながるように設定されているときに、単独電話機(普通の電話機)から外線へ電話をかけるときは、|の操作のあとに0をダイヤルしてください。

受話器をとらずに かけます

外線発信2

外線の相手へ電話をかけるときの操作です。



	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>➔ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に、スピーカランプが赤色に点灯します。</p>	<p>外線</p>
	<p>2</p> <p>相手の電話番号をダイヤルします。</p>	<p>外線 7582111</p>
	<p>3</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話ください。</p>	<p>外線 7582111</p>

ご注意

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときは、**スピーカ** ボタンを押して電話を切ってください。
- 間違えてダイヤルしたときは、**取消** ボタンを押してもう一度ダイヤルしてください。
- NCC回線を使用して電話をかけたい場合にあらかじめデータ設定をしておけば、相手先の電話番号をダイヤルするだけで自動的にNCC回線が使用されます。このときNCC特番はダイヤルする必要がありません。また、データ設定を行わなければ正しい料金計算はされません。NCC回線で電話をかけても回線が混んでいてかからないときには、一度電話を切ったあと未使用の**外線** ボタンを押します。「ツー」音が聞こえたらもう一度同じ**外線** ボタンを押して、ダイヤルし直してください。この場合はNCC回線が使用されない通常の電話となります。（「料金計算と料金表示」の「NCC回線使用時の設定」で必要項目を設定してください。P. 115）
- データ設定によって受話器をあげたときに外線へつながるように設定されているときは、操作1で**外線** ボタンを押す代わりに**スピーカ** ボタンを押しても外線へ電話がかけられます。

ボタン1つで ダイヤルします

ワンタッチダイヤル

あらかじめ相手先の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておけば、このボタンを1回押すだけでダイヤルできます。ワンタッチダイヤルは電話機1台ごとに10ヶ所まで登録できます。



	<p>1 受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に、スピーカランプが赤色に点灯します。</p>	<p>外線</p>
	<p>2 ワンタッチダイヤルボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p>
	<p>3 相手がでたら受話器をとってお話しください。</p>	<p>外線 7582111</p>

ご注意

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときには、**スピーカ** ボタン (赤色に点灯) を押して電話を切ってください。
- □タイプ電話機 (ハンズフリー機) は、ワンタッチダイヤルボタンの一番下のボタンがマイクボタンになりますのでワンタッチダイヤルの登録は9ヶ所までしかできません。
- 外線の接続されていない外線ボタンをワンタッチダイヤルボタンとして使用することができます。
- 受話器をとってダイヤルすることもできます。その場合は1の操作の前に受話器をとります。
- ワンタッチダイヤルボタンを複数押してダイヤルすることができます。また短縮ダイヤルや通常のダイヤルと組み合わせてダイヤルすることができます。20桁以上の長い電話番号をダイヤルするときや市外局番だけのワンタッチダイヤルを作って組み合わせて使用すると便利です。



登録のしかた

(例) 758-2111をワンタッチダイヤルボタン9に登録します。

 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>9 +</p>	<p>3</p> <p>ワンタッチダイヤルボタン9を押します。</p>	
 <p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * ⑩</p>	<p>4</p> <p>登録したい相手の電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
 <p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

- 登録できる電話番号は20桁までです。
- 続けて他のワンタッチダイヤルを登録する場合は、3～4の操作を繰り返します。
- 本機が構内交換機(PBX)に接続されているときは電話番号の前に0などの外線呼び出し番号をつけて登録しなければなりません。

09 07582111

└── 外線呼び出し番号

- 未使用の外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは3秒間で、“-”で表示されます。
- PBXに接続されている場合は、自動的にポーズが入ります。ポーズの長さは選択できます。“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo.002)で“ポーズ時間”(0～3)を設定してください。P.132)

変更のしかた

登録されている電話番号を変更したい場合は、新しい番号をそのまま登録してください。
前の番号は自動的に消え、変更されます。

取り消しのしかた

登録した内容を取り消す場合は、4の操作の代わりに **取消** ボタンを押してください。

内容の確認のしかた

登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の4の操作を除いてください。

ご注意

- 複数の登録・変更・取消し・内容の確認を一度に行なう場合は、5の操作を省き、3～4の操作を繰り返してください。

電話番号を短縮します

短縮ダイヤル

あらかじめ相手先の電話番号を00～89の短縮ダイヤルに登録しておけば、この2桁の番号を押すだけでダイヤルできます。



<p>2</p>	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。</p>	
<p>ファンクション</p>	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>短縮</p>	<p>3</p> <p>短縮 の下の選択ボタンを押します。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ✳ ⑩</p>	<p>4</p> <p>短縮番号をダイヤルします。</p>	<p>登録されている電話番号が表示されます。</p>
	<p>5</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話ください。</p>	

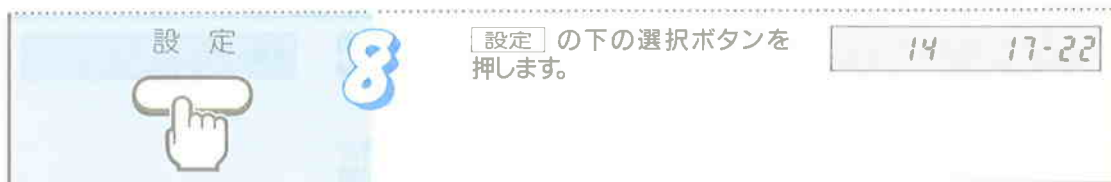
ご注意

- 00～79の短縮ダイヤルに登録してある電話番号(これを共通短縮ダイヤルと呼びます)は全電話機共通で、80～89の短縮ダイヤルに登録してある電話番号(これを独自短縮ダイヤルと呼びます)は各電話機それぞれ独自のものです。
- 共通短縮ダイヤルの登録は、マスター電話機からしかできません。

登録のしかた

(例) 758-2111を短縮ダイヤル82に登録します。

<p>ファンクション</p> 	<p>1</p> <p>【ファンクション】 ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> 	<p>2</p> <p>【設定】 の下の選択ボタンを押します。 ⤵ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>3</p> <p>【ファンクション】 ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>短縮</p> 	<p>4</p> <p>【短縮】 の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>5</p> <p>短縮ダイヤル82をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
	<p>6</p> <p>相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。</p>	
<p>ファンクション</p> 	<p>7</p> <p>【ファンクション】 ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	



ご注意

- 本機が構内交換機(PBX)に接続されているときは電話番号の前に0などの外線呼び出し番号をつけて登録しなければなりません。



- 未使用の外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは3秒間で、“-”で表示されます。PBXに接続されている場合は自動的にポーズが入ります。ポーズの長さは選択できます。“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラム No.002)で“ポーズ時間”(0~3)を設定してください。P.132)
- 共通短縮ダイヤル(→ P.26)の登録は、マスター電話機(P.8)からしかできません。

取り消しのしかた

登録した内容を取り消す場合は、6の操作の代わりに **取消** ボタンを押してください。

内容の確認のしかた

登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の6の操作を除いてください。

ご注意

- 複数の登録・変更・取消し・内容の確認を一度に行なう場合は、7・8の操作を省き、4~6の操作を繰り返してください。

最後にかけた相手に ボタン1つで ダイヤルします

リダイヤル

最後にダイヤルした相手番号が自動的に記憶されます。もう一度同じ相手にかけるときに使うと、ダイヤルする手間が省けます。



<p>2</p>	<p>1</p> <p>受話器をとらずにランプの消えている 外線 ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯します。</p>	<p>外線</p>
<p>リダイヤル</p>	<p>2</p> <p>リダイヤル ボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p> <p>記憶された電話番号が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話ください。</p>	<p>外線 7582111</p>

ご注意

- リダイヤルに記憶される電話番号は20桁までです。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでかけた番号もリダイヤルできます。
- 内線にリダイヤルを使って電話をかけることはできません。
- 受話器をとってダイヤルすることもできます。その場合は1の操作の前に受話器をとります。



通話中に 電話番号をメモして あとでかけます

メモダイヤル

通話中に電話番号を本機に記憶させておきます。
電話を切った後でリダイヤルボタンを押すと、その相手先に電話がかけられます。

(例) 通話中に、758-2111をメモして、あとで電話をかけます。



PART 2

外線でのつかいかた

	<p>1</p> <p>通話中に「リダイヤル」ボタンを押します。</p>	<p>メモ</p>
	<p>2</p> <p>メモする電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p> <p>(間違えてメモした場合は、 「操作」からやり直してください。)</p>	<p>メモ 7582111</p>
	<p>3</p> <p>通話を終わったら受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>
	<p>4</p> <p>受話器をおいたままランプの消えている「外線」ボタンを押します。</p>	<p>外線</p>
	<p>5</p> <p>「リダイヤル」ボタンを押します。</p>	<p>外線 7582111</p>
	<p>6</p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話してください。</p>	<p>外線 7582111</p>

ご注意


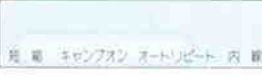


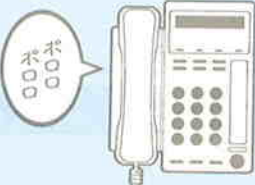



- メモできる電話番号は20桁までです。
- メモできるのは外線への電話番号だけです。

外線の予約をします

外線予約

空いている外線が無いときは、予約しておけば、外線が空き次第呼び出してくれます。







 <p>ファンクション</p>	<p>1</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>キャンプオン</p>	<p>2</p>	<p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p>	
	<p>3</p>	<p>外線が空くと「ポロロ・ポロロ」音で知らせてくれます。</p>	
	<p>4</p>	<p>受話器をとってダイヤルしてください。</p>	

ご注意

- 「ポロロ・ポロロ」音は20秒間鳴ります。20秒以内に受話器をとらない場合は予約は取り消されます。
- 受話器をあげたまま待っていた場合は、操作3で外線が空くと「ツー」音が聞こえます。

外線予約の取り消し

 <p>取 消</p>	<p>1</p>	<p>取消 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>キャンプオン</p>	<p>2</p>	<p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p> <p>➡ 外線予約が取り消されました。</p>	

本機が自動的に再ダイヤルします

オートリPEATダイヤル

電話をかけたとき相手が話し中または不在のときは、本機が自動的に再ダイヤルして相手呼び出します。



ダイヤルしたが相手が不在または話し中

ファンクション



1

受話器はそのまま「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。

外線 キャンプファン オートリPEAT 内線

オートリPEAT



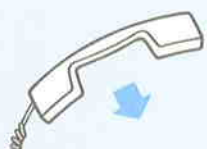
2

「オートリPEAT」の下の選択ボタンを押します。

外線 7582111

→ 確認音「ツー・ツー・ツー」が鳴ります。

再送待 7582111



3

受話器をもどしてください。

再送待 17-22

→ 1分間隔で10回（この値は変更できます）まで自動的に繰り返し相手呼び出します。受話器を置いたまま電話をかけた場合は、「スピーカ」ボタンを押してください。

再送 7582111



4



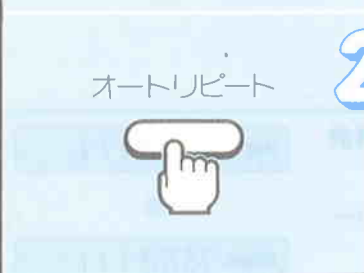
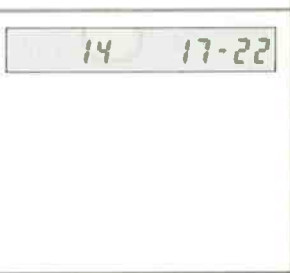
相手が出たら受話器をとってお話ください。

外線 7582111

ご注意

- 相手が出て30秒以内に受話器をとらない場合は、自動的に電話は切れます。
- オートリPEATダイヤルの設定は、1台につき1ヶ所です。重複した場合は、前の設定は取り消され、後の設定がオートリPEATダイヤルとなります。
- オートリPEATダイヤルの回数は変更できます。（「データ設定」の「システム全体のデータ」（プログラムNo.002）で「オートリPEATの回数」（1～9）を設定してください。P.132）
- NTTのリバースありの回線に本装置が繋がっている場合にしか使用できません。

オートリピートダイヤルの取り消し

	<p>取消 ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>オートリピート の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ オートリピートダイヤルが取り消されました。</p>	

外線からかかってきた電話を受けます

外線応答 1

外線から電話がかかってくると着信音が鳴り、外線ランプが赤色に点滅します。



特別な操作は必要ありません。
そのまま受話器をとってお話してください。

着信音が鳴っていない電話機で受けます

外線応答 2

着信鳴動指定または集中着信のデータ設定がされている場合は、着信音が鳴る電話機と鳴らない電話機に分れます。着信音が鳴っていない電話機からでも電話を受けることができます。



	<p>受話器をとります。</p>	<p>内線</p>
	<p>外線 ボタン(赤色の速い点滅)を押します。</p> <p>→ 外線ランプが緑色に変わります。</p>	<p>外線</p>
	<p>お話しください。</p>	<p>外線</p>

ご注意

○ 単独電話機の場合は、2の操作の代わりにフッキング(→P. 43)を行い、応答する **外線** ボタンの番号(1~4)をダイヤルします。

留守のとき音声メッセージで答えます

留守応答

留守のとき、外線からかかってきた電話に対して音声メッセージで応答することができます。

オプション

メッセージは4種類(メッセージ番号1~4)あり、選択ができます。メッセージはそれぞれ16秒間です。

ご注意

- 留守応答をするには着信モード切替(→P. 81)で着信モードを1~4に設定する必要があります。

音声メッセージを録音します





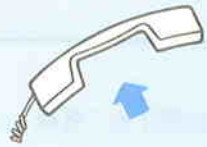

メッセージ録音







留守応答のメッセージを受話器から録音することができます。

録音のしかた

オプション



 <p>ファンクション</p> <p>1</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p> <p>2</p>	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>3</p>	<p>受話器をあげます。</p>	

	<p>4 ダイヤルボタンの⑤を押します。</p>	
	<p>5 録音したいメッセージ番号 (1～4)をダイヤルボタンを使って入力します。</p> <p>➡ 予告音「ポー」が鳴り、録音が始まります。</p>	 <p>メッセージ番号 残り時間</p>
	<p>6 受話器がマイク代りになり、録音されます。 録音時間は16秒間です。 16秒過ぎると再度「ポー」音が鳴ります。</p> <p>➡ 録音が16秒に達しない場合は、「ポー」音を待たずに操作7に進めます。</p>	
	<p>7 設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

- 着信モード(→P. 81)が1～4(留守応答)に設定されているときは録音はできません。
- 既に録音されている番号に再録音する場合は一度メッセージ内容を消去する必要があります。
取り消しのしかた(→P. 38)

再生のしかた

メッセージ録音を再生するには着信モードを一度別のモード(0、5、6)に移す必要があります。



 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>3</p> <p>受話器をあげます。</p>	
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンの⑥を押します。</p>	
	<p>5</p> <p>再生したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンで押します。</p> <p>→ メッセージが再生されます。メッセージは繰り返し再生されます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>6</p> <p>もう一度 設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

取り消しのしかた

メッセージ録音を消去するには着信モードを一度別のモード(0、5、6)に移す必要があります。
(→着信モード切替P. 81)



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツーン・ツーン」音が聞こえます。</p>	
<p>7</p>	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの7を押します。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0 #</p>	<p>4</p> <p>取り消したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンで押します。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押すとメッセージが自動的に消去されます。</p>	

外線と通話中の電話を保留します

外線システム保留

外線と通話中の電話を保留します。保留中の電話は他の外線電話機でもとることができます。



通話中		
	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>→ 外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。 相手先にはメロディが流れます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</div>
	<p>受話器をもどします。</p> <p>→ 保留ランプが消えます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">14 17-22</div>

ご注意

- 保留メロディには2種類あり、データ設定によって選択できます。
("データ設定"の"システム共通データ"(プログラムNo.001)で"保留メロディ"(0または1)を設定してください。P.131)

電話にでるとき

	<p>受話器をとります。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</div>
	<p>緑色に点滅している 外線 ボタンを押します。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</div>
	<p>お話しください。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</div>

ご注意

- 保留した通話を他の電話機でとるとき (→外線・内線転送1 P.41、44)
- 1台の電話機で複数の通話を保留することができます。

自分の電話機だけで 保留します

外線自己保留

外線と通話中の電話を保留します。
保留した電話は他の電話機でとることはできません。
また、他の電話機に転送することもできません。



通話中		
<p>ファンクション</p> <p>1</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>自己保留</p> <p>2</p>	<p>自己保留 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>⇒ 外線ボタンが緑色に点滅し、相手先にはメロディが流れます。</p>	
<p>3</p>	<p>受話器をもどします。</p>	

電話にでるとき

<p>1</p>	<p>受話器をとります。</p>	
<p>2</p>	<p>緑色に点滅している 外線 ボタンを押します。</p>	
<p>3</p>	<p>お話しください。</p>	

転送について

本機の転送には以下の9種類があります。

- **外線・外線転送1**
(→P. 42)
あらかじめ転送先を登録しておけば、不在時などにかかってきた外線からの電話を自動的に転送します。
- **外線・外線転送2**
(→P. 43)
外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
- **外線・内線転送1**
(→P. 44)
外線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が近くに居る場合の転送です。
- **外線・内線転送2**
(→P. 46)
外線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。
- **F A X 転 送**
(→P. 47)
A～Dタイプ電話機で外線からかかってきた電話をFAXに転送します。
- **内線・内線転送1**
(→P. 59)
内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が近くに居る場合の転送です。
- **内線・内線転送2**
(→P. 61)
内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。
- **内線・外線転送**
(→P. 62)
内線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
- **不 在 転 送**
(→P. 68)
自分の電話機へかかってくる電話をあらかじめ設定した他の内線電話機へ自動的に転送します。

設定された外線の 相手先に自動的に 転送します

外線・外線転送 1

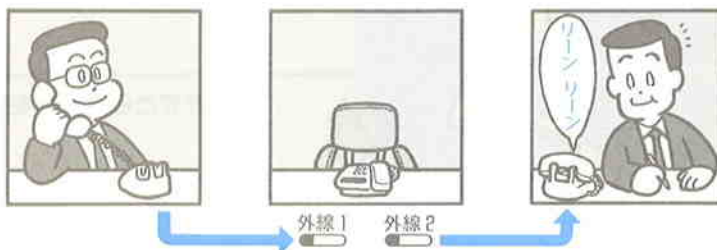
あらかじめ転送先を登録しておけば、不在時などにかかってきた外線からの電話を自動的に転送します。
転送については（→P. 41）

転送先の電話番号はマスター電話機を使ってあらかじめ短縮ダイヤルの00・01・02・03に登録しておく必要があります。
外線1にかかってきた電話は短縮ダイヤル00に、外線2は01、外線3は02、外線4は03にそれぞれ対応します。

また、着信モード切替（→P. 81）で、着信モードを6の「転送電話」にする必要があります。

ご注意

- 電話を転送するための回線に空きが無い場合は、外からの電話には自動応答しません。
- 転送先がNTTの回線のリバース有に接続されていないと使用できません。
- 30分で警告音「ポー」が鳴ります。警告音が鳴ると、30秒で電話は切れます。
- 登録はマスター電話機からしかできません。
- 転送先が受話器をとると、転送された電話であることを知らせる「プルルル」音が3秒間鳴ります。



外線の相手先に 転送します

外線・外線転送②

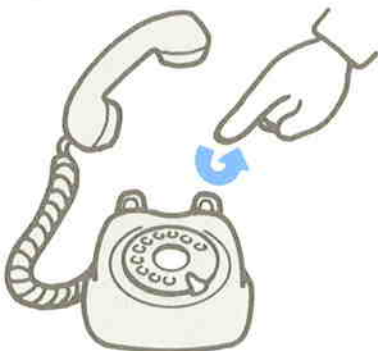
外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
転送については (→ P. 41)



通話中			
	1	保留 ボタンを押します。 ↳ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。	内線
	2	ランプの消えている 外線 ボタンを押します。	外線
	3	転送したい相手の電話番号をダイヤルします。	外線 7582111
	4	相手がでたら受話器をもどします。	14 17-22

ご注意

- 転送先がPBX (構内交換機) の場合は使用できません。
- 30分で警告音「ポー」が鳴ります。警告音が鳴ると30秒で電話は切れます。
- 単独電話機の場合は**保留** ボタンの代わりにフッキング* を行い、0をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルします。
 * フッキングとはフックボタンを軽く (0.2~0.8秒) 押すことです。



近くに居る内線の人に 転送します

外線・内線転送 1

外線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。
転送する相手が近くに居る場合の転送です。
転送については (→P. 41)



通話中	
	<p>1 保留 ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ相手先にはメロディが流れます。 外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>
	<p>2 受話器をもどします。</p> <p>④ 保留ランプが消えます。</p>
	<p>3 転送したい相手に口頭で伝えます。</p>

※転送された人が電話にでるときの操作は次のページを参照してください。



呼ばれた人



	<p>受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>赤色に点滅している 外線 ボタンを押します。</p> <p>➡ 転送されました。</p>	<p>外線</p>
	<p>お話ください。</p>	<p>外線</p>

ご注意

- 単独電話機の場合は、2の操作の代わりにフッキング(→P. 43)を行い、応答する **外線** ボタンの番号(1~4)をダイヤルします。

離れている内線の人に 転送します

外線・内線転送②

外線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。
転送については (→P. 41)



通話中		
	<p>1 保留 ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手先にはメロディが流れます。外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線</div>
	<p>2 転送したい相手の内線番号をダイヤルします。</p> <p>→ 保留ランプが消えます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">呼出中 18</div>
	<p>3 相手がでたら受話器をもどします。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線 18</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">14 17-22</div>

ご注意

- 転送先が不在や話し中のときまたは番号を間違えてダイヤルしたときは、もう一度 **外線** ボタン(緑色に点灯)を押すともとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**取消** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼び返し音が鳴ります。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング(→P. 43)をして内線番号をダイヤルしてください。
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。

FAXに 転送します

FAX転送

外線からかかってきた電話をFAXに転送します。

転送については (→P. 41)

Eタイプ電話機に接続されたFAXの送受信のしかたについては (→P. 121)



Eタイプ電話機を除く

	<p>1</p> <p>相手がFAXである「ピー・ピー」音を確認します。</p> <p>(相手が手動送信の場合は相手にFAXの送信ボタン(スタートボタン)を押してもらいます。)</p>	<p>外線</p>
	<p>2</p> <p>ファクス ボタンを押します。</p> <p>⇒ ファクスランプが赤色に点滅し、通信が始まると点灯に変わります。</p>	<p>外線</p>
	<p>3</p> <p>受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>

ご注意

- FAXが使用中(ファクスランプが赤色の点灯)の場合は、FAXには転送できません。
- 2の操作でファクスランプが赤色に点滅している間は、使用している **外線** ボタン (緑色の点灯) を押して転送を中止することができます。
ファクス ランプが赤色の点灯に変わった後は、転送を中止できません。
 また、受話器をもどした後も転送を中止できません。
- (“データ設定”の“電話機別データ”(プログラムNo.020または021)で“接続する電話機がパルス回線用のFAXのとき”(2)または“トーン回線用のFAXのとき”(3)に設定してください。P. 135)



外線1



ファクス
赤色の点滅 → ファクス
赤色の点灯



PART 3

内線での使い方

内線へ電話をかけます

内線発信

内線の相手へ電話をかけるときの操作です。



	<p>受話器をあげます。</p>	<p>外線</p>
	<p>ファンクション ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>長 幅 キャンプオン オートリポート 内線</p>
	<p>内線 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
	<p>内線番号をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 18</p> <p>誤り 35</p> <p>誤ってダイヤルした場合</p>
	<p>相手が出たら受話器をとってお話ください。</p>	<p>内線 18</p>

受話器をあげたとき内線に直接継がるようにデータ設定されている場合 (→外線発信1 P. 21)

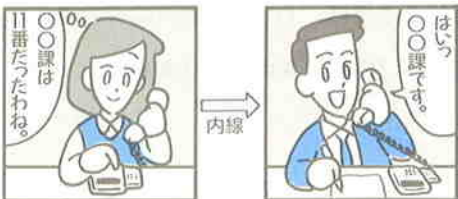
データ設定



<p>1</p>	<p>受話器をあげるかまたは 「スピーカ」ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>	<p>内線</p>
<p>2</p>	<p>内線番号をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 18</p> <p>誤り 35</p> <p>誤ってダイヤルした場合</p>
<p>3</p>	<p>相手が出たら(1で「スピーカ」ボタンを押した場合は受話器をとって)お話しください。</p>	<p>内線 18</p>

ご注意

○ 誤ってダイヤルしたときは、「取消」ボタンを押してからもう一度ダイヤルし直してください。



音声で相手を 呼び出します

音声呼出

こちら側の声を相手機(内線)のスピーカから出して相手を呼び出します。



	<p>1</p> <p>受話器をあげるかまたは「スピーカ」ボタンを押します。</p> <p>➡ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。スピーカボタンを押した場合はスピーカランプが赤色に点灯します。</p>	<p>内線</p>
	<p>2</p> <p>内線番号をダイヤルします。</p>	<p>呼出中 18</p>
	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの①を押します。</p> <p>➡ 相手機とこちら側の両方に予告音「ポー」が鳴ります。</p>	<p>音声 18</p>
	<p>4</p> <p>呼び出しをしてください。</p> <p>(1でスピーカボタンを押した場合は受話器をとってから呼び出しをしてください)</p>	<p>音声 18</p>

ご注意

- 呼出音で相手を呼び出している途中で音声呼び出しに切り替えたいときは、ダイヤルボタンの①を押してください。
- 受話器を上げたときに外線に直接つながるようになっているときは、1の操作の次に次の操作を行います。
 1. **ファンクション** ボタンを押して機能表示パネルの中の「内線」を点灯させます。
 2. **内線** の下の選択ボタンを押します。

内線の相手を一斉に呼び出します

内線一斉呼出

こちら側の声を全ての内線電話機のスピーカから出して全員を一斉に呼び出します。



	<p>1</p> <p>受話器をあげるかまたは「スピーカ」ボタンを押します。</p> <p>④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。 スピーカボタンを押した場合はスピーカランプが赤色に点灯します。</p>	<p>内線</p>
	<p>2</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>電話 設定 アラーム 一斉</p>
	<p>3</p> <p>「一斉」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④ 未使用の内線電話機全てのスピーカから予告音「ポー」が鳴ります。</p>	<p>一斉</p>
	<p>4</p> <p>呼び出しをしてください。</p> <p>(1でスピーカボタンを押した場合は受話器をとってから呼び出しをしてください)</p>	<p>一斉 15</p> <p>他の電話機には呼び出しをしている人の内線番号が表示されます。</p>

ご注意

- 呼び出しをうけた人が呼び出しをした人と通話するときは、1～3の操作をしてください。
- 一斉呼出しをしても通話中の電話機に呼び出しはできません。
- 受話器を上げたときに外線に直接つながるようになっているときは、1の操作の次に次の操作を行います。
 1. 「**ファンクション**」ボタンを押して機能表示パネルの中の「内線」を点灯させます。
 2. 「**内線**」の下の選択ボタンを押します。

相手の電話機に自分の内線番号を残します

メッセージウエイト

相手が呼び出しに応答しない場合に、自分の内線番号を相手のディスプレイに表示しておくことができます。



	<p>1</p> <p>相手呼び出し中の「プロロロ」音を確認します。</p>	<p>呼出中 18</p>
	<p>2</p> <p>ダイヤルボタンの@を押します。</p> <p>→ 確認音「ツー・ツー・ツー」が鳴ります。</p>	<p>伝言 18</p>
	<p>3</p> <p>受話器をもどします。</p> <p>(スピーカボタンを押してかけた場合は、もう一度スピーカボタンを押します)</p>	<p>14 17-22</p>

ご注意

- メッセージウエイトを取り消す場合は、もう一度相手呼び出ししてください。相手のディスプレイから自分の内線番号が消えます。

	<p>電話有 15 17-22</p> <p>呼び出しをした相手の内線番号と現在の時間が表示されます。</p>
--	---

ご注意

- 呼び出しを受けた側が、受話器をあげるか「スピーカ」ボタンを押すと、メッセージは取り消されます。
- メッセージウエイトは最初に受けたものに限ります。
- メッセージウエイトは1ヶ所の相手にしかできません。

話し中の相手を 呼び出します

話中呼出

相手が他の人と話し中のときでも、こちら側から相手を呼び出し、通話することができます。



	1	相手が話し中である「ツーツー」音を確認します。	通話中 18
	2	ダイヤルボタンの③を押します。 ➡ 相手が呼び出されます。	呼出中 18

ご注意

○ 呼び出しができるのは相手が内線と通話中のときに限ります。

呼び出しを受けた側

	1	スピーカから呼出音「ツーツー」が聞こえます	内線 15 12 内線12と通話中に内線15から呼び出しを受けた場合
	2	フッキング(➡P. 43)を行います。 ➡ 呼び出した人と話しができます。	内線 12 15
	3	もう一度フッキングをします。 ➡ 最初の相手と通話できます。	内線 15 12

ご注意

- フッキングをするたびに相手を変えて通話できます。
- 単独電話機(普通の電話機)では呼び出しを受けられません。



相手が話し中のとき 通話が終了したい 呼び出します

内線予約

相手が話し中の場合でも、話しが終了したい自動的に呼び出します。





	<p>1</p> <p>相手が話し中である「ツーツー」音を確認します。</p>	<p>通話中 18</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>男 婦 キャンプオン ストリート 内線</p>
<p>キャンプオン</p>	<p>3</p> <p>キャンプオン の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 確認音「ツーツー・ツーツー」が鳴ります。</p>	<p>終話待 18</p>
	<p>4</p> <p>受話器をもどします。</p> <p>(スピーカボタンを押してかけた場合はもう一度スピーカボタンを押します。)</p>	<p>終話待 17-22</p>
	<p>5</p> <p>相手の話しが終わると「ポロポロ・ポロロ」音が鳴ります。</p>	<p>終話</p>

	<p>6 受話器をとります。</p> <p>➡ 受話器から「ポロロ」音が聞こえます。</p>	<p>呼出中 18</p>
	<p>7 相手が出たらお話しください。</p>	<p>内線 18</p>

ご注意

- 内線予約は1ヶ所の相手にしかできません。
- 5の操作で15秒間受話器をとらないと予約は取り消されます。
- 4の操作で受話器をあげたまま相手の終話を持つこともできます。その場合は、操作5の「ポロロ・ポロロ」音はありません。
- 5の操作で相手が再度受話器をとった場合は、「ポロロ・ポロロ」音は止まり、終話待の状態にもどります。
- 転送などで予約した相手から呼出しがあって応答した場合と、予約した相手を呼出して通話した場合は予約は取り消されます。

予約の取り消し

<p>取消</p> 	<p>1 取消 ボタンを押します。</p> <p>➡ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	<p>取消</p>
<p>キャンブオン</p> 	<p>2 キャンブオン の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>14 17-22</p>

内線からかかってきた電話を受けます

内線応答

内線から電話がかかってくると、着信音「プルルッ・プルルッ」が鳴ります。



特別な操作は必要ありません。
そのまま受話器をとって話してください。

着信音の鳴っていない電話機で受けます

内線代理応答

着信音が鳴っていない電話機でも電話を受けることができます。



 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>代理応答</p>	<p>2</p> <p>代理応答 の下の選択ボタンを押します。</p>	 <p>電話をかけてきた相手の内線番号が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>受話器をとって話してください。</p>	

内線と通話中の電話を保留します

内線システム保留

内線と通話中の電話を保留します。保留中の電話は他の内線電話機でもとることができます。



通話中			
	1	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>→ 保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>	内線
	2	<p>受話器をもどします。</p>	14 17-22

PART 3

内線でのつかいかた

電話にでるとき

	1	<p>受話器をとります。</p>	外線
	2	<p>もう一度 保留 ボタン(赤色に点灯)を押します。</p>	内線 12
	3	<p>お話しください。</p>	内線 12

ご注意

- 保留できるのはシステム全体で1通話に限ります。
- すでに保留している内線番号があるときは、保留ランプが赤色に点滅しています。

近くに居る 内線の人に 転送します

内線・内線転送 1

内線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。
転送する相手が近くに居る場合の転送です。
転送については (→ P. 41)



通話中			
	1	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>➡ 保留ランプが赤色に点灯します。 相手先にはメロディが流れます。</p>	内線
	2	<p>受話器をもどします。</p>	14 17-22
	3	<p>転送したい相手に口頭で伝えます。</p>	14 17-22



呼ばれた人



	<p>1 受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>2 赤色に点滅している 保留 ボタンを押します。 ⇨ 転送されました。</p>	<p>内線 18</p>
	<p>3 お話ください。</p>	<p>内線 18</p>

ご注意

- 保留・転送ができるのはシステム全体で1通話に限ります。
- 単独電話機(普通の電話機)では受けられません。

離れている 内線の人に 転送します

内線・内線転送2

内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。
転送する相手が離れている場合の転送です。
転送については (→ P. 41)



通話中		
	<p>1 保留 ボタンを押します。</p> <p>保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>	<p>内線</p>
	<p>2 転送したい相手の内線番号をダイヤルします。</p>	<p>内線 18</p> <p>↓</p> <p>呼出中 18</p>
	<p>3 相手が出たら受話器をもどします。</p> <p>☞ 転送されました。</p>	<p>内線 18</p> <p>↓</p> <p>14 17-22</p>

ご注意

- 転送先が不在や話中のときは、**取消** ボタンを押してから **保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。また、番号を間違えてダイヤルしたときは、**保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**取消** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼び返し音が鳴ります。
- 単独電話機(普通の電話機)の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング(→ P. 43)をして内線番号をダイヤルしてください。
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。

外線の相手先に 転送します

外線・外線転送

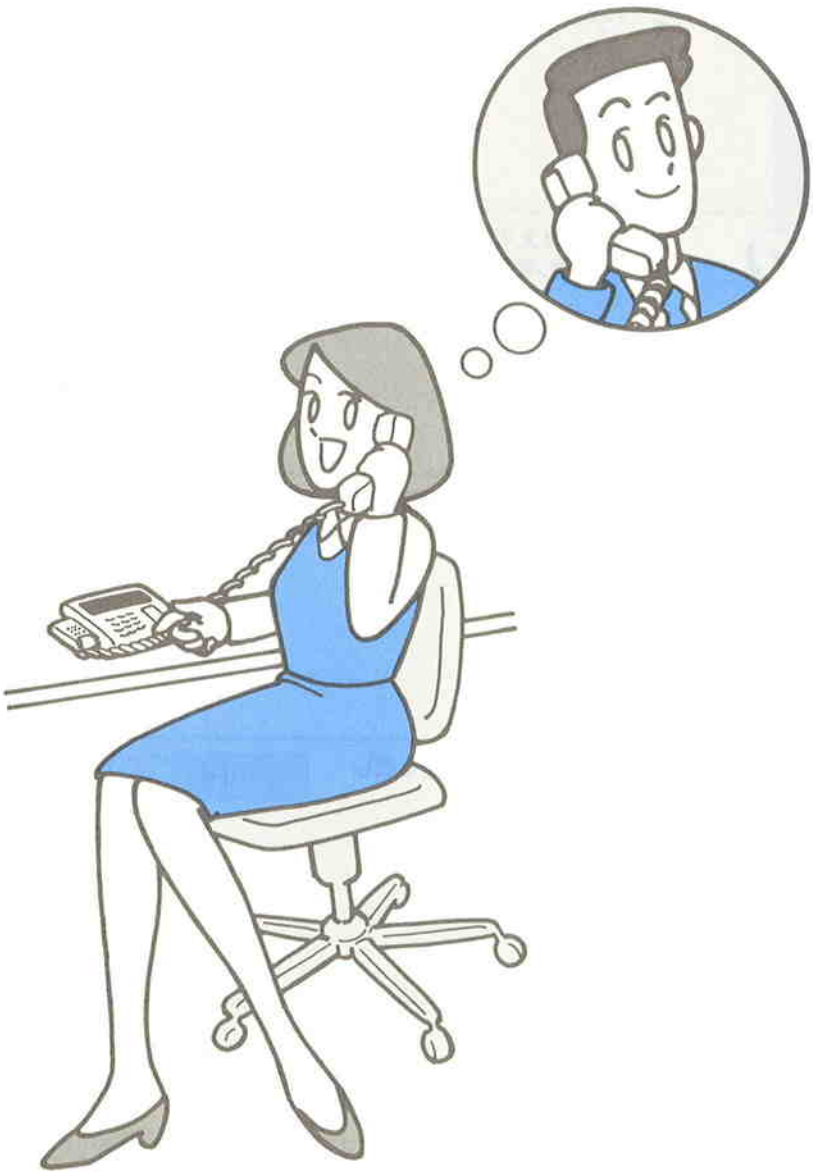
外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。
転送については (→P. 41)



通 話 中		外線 12
	1 保留 ボタンを押します。 ④ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。	外線
	2 ランプの消えている 外線 ボタンを押します。	外線
	3 転送したい相手の電話番号をダイヤルします。	外線 7582111
	4 相手が出たら受話器をもちます。	14 17-22

ご注意

- 発信規制 (→P. 73) により、外線へ電話をかけることができない電話機からでもこの操作を他の内線の人に行ってもらうことによって外線へ電話がかけられます。
- 単独電話機 (普通の電話機) の場合は、「保留」ボタンを押す代わりにフッキング (→P. 43) を行い、0 をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルしてください。



PART 4

外・内線共通のつかいかた

3人で通話を します

会議通話

内線・外線を問わず2者間の通話にもう一人加えて、3者による通話ができます。

オプション



通話中			
	1	<p>保留 ボタンを押します。</p> <p>→ 受話器から「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、保留ランプが赤色に点灯(内線を保留)または外線ランプが緑色(外線を保留)に点滅します。相手先にはメロディが流れます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線</div>
	2	<p>加えたい相手の電話番号をダイヤルします。</p> <p>(外線へ電話をかける場合は、外線ボタンを押してからダイヤルしてください。)</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線 18</div>
<p>ファンクション</p>	3	<p>電話がつながったらファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">自己保留 ドアホン 会議通話 代理応答</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線 18</div>
<p>会議通話</p>	4	<p>会議通話 下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 最初の相手ともつながり3人で通話ができます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">会議</div>

ご注意

- 会議通話中は保留ができません
- 3者のうち1者が電話を切れば、他の2者だけの通話になります。しかし、外線2者と会議通話をしているときに、自分が電話を切ると他の2者の電話も切れてしまいます。また、外線2者との会議通話時に、自分以外の1者が電話を切ったときに「ツー・ツー」音が聞こえるときがあります。このときは以下のようにしてください。
 1. 電話を切ったのがどちらの外線か分かっている場合は、もう一方の外線ボタンを2回押します。
 2. 電話を切ったのがどちらの外線か分からない場合は、どちらかの外線ボタンを押します。
「ツー・ツー」音が止まったときは、もういちどその外線ボタンを押します。
「ツー・ツー」音が止まらないときは、もう一方の外線ボタンを2回押します。

不在のとき自分に電話がかからないようにします

不在設定

自分の電話機へ電話がかかってこないようにできます。



<p>ファンクション</p> <p>1</p>	<p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> <p>2</p>	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。 → 「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p>	<p>ダイヤルボタンの①を押します。</p>	
<p>4</p>	<p>ダイヤルボタンの*を押します。</p>	
<p>設定</p> <p>5</p>	<p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

PART 4

外・内線共通のつかいかた

ご注意

○不在設定をしている電話機を呼び出すと「ツー・ツー」音が聞こえます。内線から不在設定をしている電話機にかけた場合にはディスプレイに下図のように表示されます。

○ドアホンからの呼び出しも無視されます。

不在 15

○不在設定をしている電話機から電話をかけることはできません。



取り消しのしかた

取り消したい場合は、4の操作で **取消** ボタンを押してください。

不在のとき設定した電話に転送します

不在転送

自分の電話機へかかってくる電話をあらかじめ設定した他の内線電話機へ自動的に転送します。

転送については(→P. 41)



<p>ファンクション</p> <p>1</p>	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> <p>2</p>	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。 → スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>1</p> <p>3</p>	<p>ダイヤルボタンの①を押します。</p>	
<p>4</p>	<p>転送したい内線番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
<p>設定</p> <p>5</p>	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

- ドアホンからの呼び出しも転送されます。
- 転送先が不在転送・不在設定をしても転送されます。



取り消しのしかた

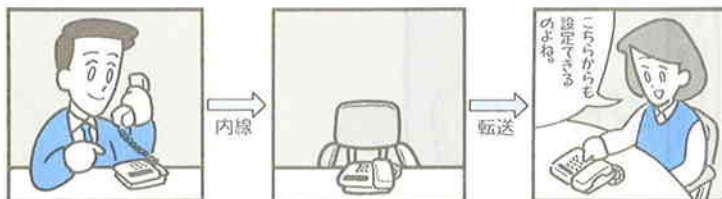
取り消したい場合は、4 の操作で「取消」ボタンを押してください。取り消しの操作ができるのは不在設定されている自分の電話機に限ります。

転送したい電話機からの設定

転送先の電話機から自分の電話機に不在転送の設定をする場合は、3 の操作でダイヤルボタンの②を押して 4 の操作は自分の内線番号を入力してください。

ご注意

- 自分の電話機が単独電話機の場合は転送できません。
- 転送先の電話機から設定した場合も、取り消しは自分の電話機に限ります。



PART 5









さらに便利な機能

自分の内線番号と端子番号を確認します

内線番号表示

自分の電話機の端子番号と内線番号を表示します。



 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>8</p>	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの⑧を押します。</p>	
 <p>設定</p>	<p>4</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

○4の操作をしなくても表示は10秒で消えます。

ダイヤルボタンを押すと音がします

キーイントーン

ダイヤルボタンとワンタッチダイヤルボタンを押したときに「ピッ・ピッ」と音が鳴ります。この音をキーイントーンと呼びます。



- キーイントーンを鳴らしたくない場合は、フックボタンを押しながら受話音量調整ボタンを押してください。
- 受話音量調整ボタンを押すたびに“鳴る”、“鳴らない”が切替わります。

トーン信号によって 各種サービスを 受けます

PB信号送出

本機がパルス(回転ダイヤル式)回線に接続されていてもトーン信号による各種サービスが受けられます。



- 通常の電話の要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンの☎を押します。以降、トーン(プッシュホン)信号が発信できるようになりサービスが受けられます。
- トーン信号によるサービスには銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などがあります。
- メモダイヤルを使用しているときはこの機能は使えません。

電話がかけられる区域を設定します

発信規制

各電話機ごとに0～5までのクラスを付け、市内や市外などへの発信を規制することができます。

データ設定



● 規制には以下の5種類があります。

1. 規制なしクラス0
2. 国際電話がかけられませんクラス1
3. 特定区域を除く、市外電話がかけられませんクラス2
4. すべての市外電話がかけられませんクラス3
5. PBXの内線以外の電話がかけられませんクラス4
6. 本システム内の内線電話のみ発信できますクラス5

- 発信規制を行った区域に電話をかけようとしても「ツ・ツー」音が聞こえるだけで発信できません。
- 短縮ダイヤルの00～79に登録されている電話番号は規制の対象となりません。
- クラス番号はデータ設定のとき使用します。
 (“データ設定”の“発信規制における特定区域” (プログラムNo.004～007)の設定をしてください。P. 133)

(“データ設定”の“電話機別データ1” (プログラムNo.020～029)で“発信規制でのクラス設定”(0～5)を設定してください。P. 136)



クラス0
規制なし



クラス4
外線への発信を規制します



通話中にかかってきた 外線からの電話を 知らせてくれます



話中着信

通話中や登録・確認などをしているときに外から電話がかかってくると、スピーカから「ツー・ツー」音で知らせてくれます。

外線からの電話が1台 の電話機に集中して かかるようにします



データ設定

集中着信

夜間・休日など外線からかかってきた電話を守衛所などの電話機1台で集中して受けられます。

- 外線ごとに1台設定できます。
- 着信モード切替(→P. 81)で、着信モードを5の集中着信にします。またどの電話機に集中着信を行うかはデータ設定によって決めます。("データ設定"の"外線別データ" (プログラムNo. 010~013)で"集中着信をする電話機の端子番号" (0~9)を設定してください。P. 125)
- 集中着信時には、不在設定(→P. 66) および不在転送(→P.68)の登録は無視されます。

外線ごとに、受ける ことのできる電話機 を設定します

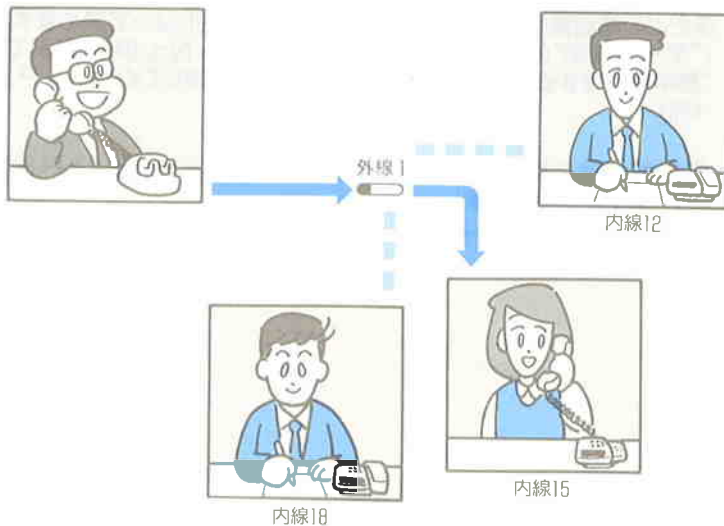
ダイレクト・イン・ライン(DIL)

外線からかかってきた電話を外線1本に対して、特定の内線電話機1台にのみかかるようにできます。

データ設定



- 通常、外線から本機に電話がかかってきたときは接続されているどの内線電話機からでも受けることができますが、これを特定の内線電話機1本でしか受けられないようにできます(この場合はこの特定の電話機しか着信音は鳴りません)。外線1本に対して1台の内線電話機を指定できます。
(“データ設定”の“外線別データ”(プログラムNo. 010~013)で“DILをする”(1)と、“DILをする電話機の端子番号”(0~9)を設定してください。P.133)
 - データ設定により、DILに設定された電話機が20秒間応答しない場合は他の電話機にも着信音が鳴り、受けることができます。
(“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo.001)で、“DILを一定時間で解除する”(1)または“解除しない”(0)を設定してください。P.131)
 - DILに設定された電話機が不在設定をしていると、DILは行われません。
 - DILに設定された電話機が不在転送をしていると、転送先がDILになります。
 - 着信モード切替で集中着信や転送電話のモードになっていてもDILが優先して行われます。
- (例)外線1に対して内線15をダイレクト・イン・ラインに設定したとき



例えば外線1に電話がかかってきたときに通常であれば12・15・18の内線電話機すべてに着信音が鳴りますが、この場合は内線15の電話機が鳴るだけで、他の電話機では受けられません。

外線ごとに、着信音の 鳴る電話機を 設定します

着信鳴動指定

着信音が鳴る電話機を外線ごとに設定できます。

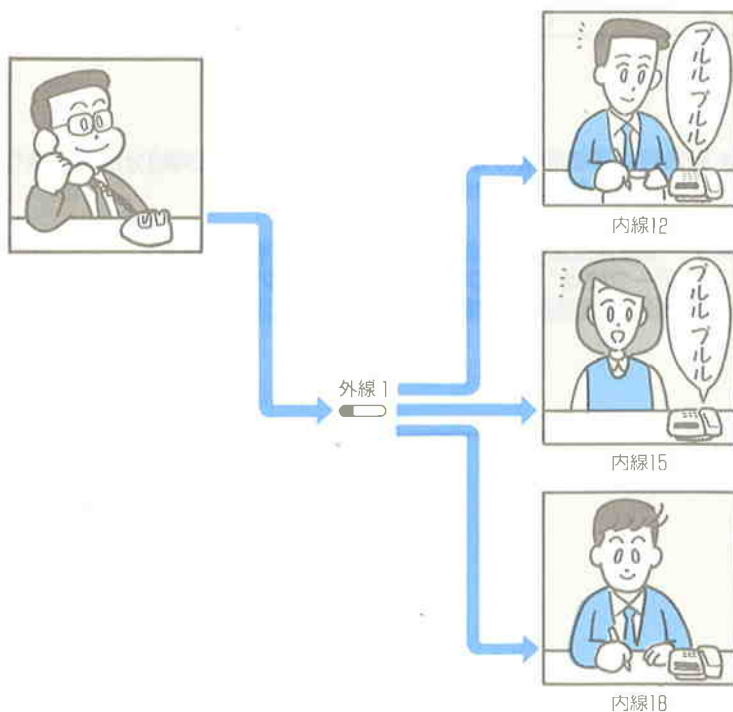
データ設定



- 通常、外線から本機に電話がかかってきたときは接続されている内線電話機が一齐に鳴りますが、設定した内線電話機の着信音しか鳴らさないようにすることができます。各外線ごとに着信音を鳴らす内線電話機(複数)を設定できます。

“データ設定”の“電話機別データ1”(プログラムNo. 020~029)で“外線1~4に電話がかかってきたとき着信音を鳴らす”(1)または“鳴らさない”(0)を設定してください。P.135)

(例) 外線1にかかってくる電話を内線の12と15の電話機だけ着信音が鳴るようにします。



外線ごとに着信音の音を変えます

データ設定



外線別着信音

外線ごとに着信音の音色を変えることができます。音色は2種類のうちから選択できます。

(“データ設定”の“外線別データ”(プログラムNo. 010~013)で“外線着信音の種類”(1または2)を設定してください。P. 133)

警告音を出して長電話を防ぎます

長時間通話警報

外線との通話中に、一定の間隔で警告音が鳴ります。



- 警告音は通話を始めてから2分30秒後に鳴り、その後3分間隔で鳴ります。警告音はスピーカから鳴ります。
- データ設定により警報音を出さないようにもできます。
(“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo. 001)で“長時間通話警報を鳴らさない”(0)に設定してください。P. 131)



警告音を出して 長時間の保留を 防ぎます

保留警報

外線との通話を保留状態のまましていると、スピーカから警告音が鳴り、外線ランプが緑色の速い点滅に変わります。



- 警告音は1分間隔で鳴ります。
- 警告音は保留した電話機のみに出されます。
- データ設定により警告音を出さないようにもできます。
("データ設定"の"システム全体のデータ"(プログラムNo.001)
で"保留警報を鳴らさない"(0)に設定してください。P.131)

着信音を外部のスピーカ から出します

ベル拡声

電話機の着信音を外部のスピーカから同時に鳴らすことができます。

データ設定 オプション



- ベル拡声ができる電話機は1台のみです。
- ドアホン(→P. 86) および構内放送(→P. 88) を使用中はこの機能は使えません。
("データ設定"の"システム全体のデータ"(プログラムNo.002)
で"ベル拡声使用電話機端子番号"(2~9)を設定してください。
P.132)

受話器をおいたまま 通話できます

ハンズフリー通話

受話器をおいた状態で通話ができます。



ハンズフリー機のみ

電話のかけかた

1. **「スピーカー」ボタンを押します。**
④ **「スピーカー」ランプが赤色に点灯します。**
2. **相手の電話番号をダイヤルします。**
3. **相手が出たら、マイクボタンを押します。**
④ **「スピーカー」ランプが緑色に点灯します。**

※データ設定で“通常ONにする”に設定した場合は、3の操作はいりません。

※通話を切る場合は、**「スピーカー」ボタンを押します。**

電話のうけかた

1. **着信音が鳴ったら「スピーカー」ボタンを押します。**
④ **「スピーカー」ランプが赤色に点灯します。**
2. **マイクボタンを押します。**
④ **「スピーカー」ランプが緑色に点灯します。**

※データ設定で“通常ONにする”に設定した場合は、2の操作はいりません。

※通話を切る場合は、**「スピーカー」ボタンを押します。**

- ワンタッチダイヤルボタンの一番下のボタンがマイクのスイッチになります。マイクボタンを1回押すとスイッチがONになり、もう1回押すとOFFになります。
ONでスピーカランプが緑色、OFFで赤色に点灯します。

- 通常はマイクのスイッチはOFFの状態ですが、データ設定によりこれをONの状態にしておくこともできます。このときはマイクボタンを1回押すとスイッチOFFになりもう1回押すとONにもどります。
（“データ設定”の“電話機別データ2”（プログラムNo. 030～039）で“ハンズフリー機のマイクのスイッチを通常オンにする”（1）に設定してください。P. 137）

- 通話は交互に行ってください。相手と同時に話すと、声のとぎれる場合があります。

機能ボタンや操作を ワンタッチダイヤル ボタンに登録します

フレキシブルアサイン

ワンタッチダイヤルボタンには電話番号だけでなく「設定」「アラーム」などの機能ボタンを登録したり、例えば不在設定などの一連の操作を登録したりすることができます。



- 登録のしかたはワンタッチダイヤルの登録(→P. 24)と同じです。電話番号の代わりに、機能ボタンや数字を入れてください。
- 「ファンクション」ボタンは登録できません。
- 「設定」と「取消」と「外線」と「リダイヤル」の登録をするときには受話器をあげてから、それぞれのボタンを押してください。
- 登録・設定の操作中は、フレキシブルアサインは無効です。
- Eタイプ電話機の場合、「ファクス」ボタンは登録できません。

登録できる機能ボタンとディスプレイ表示との対応

機能ボタン	ディスプレイ表示
設定	F 12.
アラーム	F 13.
一斉	F 14.
自己保留	F 21.
ドアホン	F 22.
会議通話	F 23.
代理応答	F 24.
短縮	F 31.
キャンプオン	F 32.
オートリピート	F 33.

機能ボタン	ディスプレイ表示
内線	F 34.
外線3	F 41.
外線4	F 42.
外線1	F 51.
外線2	F 52.
ファクス	F 53.
取消	F 61.
リダイヤル	F 62.
スピーカ	F 63.
保留	F 64.

(例)不在転送の操作をワンタッチダイヤルボタン9に入れます。
ワンタッチダイヤルの登録のしかたの順番に従って1~5の操作を行います。その時4の操作で、登録したい相手の電話番号を入力する代わりに、不在設定の操作である以下の1~6を行いません。

1. 受話器をあげ、「設定」の下の選択ボタンを押します。
2. 受話器をおろします。
3. ダイヤルボタンの①を押します。
4. 転送したい内線番号をダイヤルボタンを使って入力します。
5. もう一度受話器をあげ「設定」の下の選択ボタンを押します。
6. 受話器をおろします。

以上でワンタッチダイヤルボタン9に不在転送が登録されました。あとはワンタッチダイヤルボタン9を押すだけで、不在転送が行われます。

留守応答、集中着信、 外線・外線転送1に 使います

着信モード切替

外線から電話がかかってきたときに通常着信をするか、音声メッセージで対応するか、集中着信をするか、外線・外線転送1にするかという着信モードを外線ごとに設定します。



<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>2</p>	<p>3</p> <p>着信モードの設定をしたい外線ボタンを押します。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ (*) 0</p>	<p>4</p> <p>着信モード番号をダイヤルボタンで押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>着信モード</p> <p>0. 通常着信</p> <p>1. 音声メッセージ応答 1</p> <p>2. 音声メッセージ応答 2</p> <p>3. 音声メッセージ応答 3</p> <p>4. 音声メッセージ応答 4</p> <p>5. 集中着信</p> <p>6. 転送電話(外線・外線転送1)</p> </div> <p>オプションが必要です。</p>	
<p>設定</p>	<p>5</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

- 着信モード1～4(音声メッセージ応答)は全外線に共通ですが、応答をする・しないは外線ごとに設定できます。メッセージの種類を変える場合は、すべての外線を一度別のモード(0・5・6)に移してから設定し直してください。
- 各外線の着信モードがマスター電話機に表示されるようになります。
- 外線が持続されていないときは、スペースになります。
- 外線の設定がすべて“0”(通常着信)のときは、上のモード表示はされず、通常の日付・時刻表示になります。



PART 6

アラーム・ドアホン
構内放送・電卓

指定の時刻に 音を鳴らします











アラーム

電話機ごとに指定時刻にアラームを鳴らすことができます。

設定のしかた

(例) 午後の1時30分にアラームが鳴るようにします。













<p>ファンクション</p> 	<p>1</p> <p>「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p> 	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>アラーム</p> 	<p>3</p> <p>「アラーム」の下の選択ボタンを押します。</p>	
<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ * 0</p> 	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンで時刻を入力します。</p> <p>(例) 1 3 3 0 時刻は24時間制で入力します。</p>	
<p>設定</p> 	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

- 取り消しをするまでは毎日指定時刻にアラームが鳴ります。
- アラーム音は15秒間鳴ります。途中で止めたいときは、受話器をあげるか任意のボタンを押してください。

取り消しのしかた

 <p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクションボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
 <p>設定</p>	<p>2</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p> <p>④ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
 <p>アラーム</p>	<p>3</p> <p>「アラーム」の下の選択ボタンを押します。</p>	
 <p>取消</p>	<p>4</p> <p>「取消」ボタンを押します。</p>	
 <p>設定</p>	<p>5</p> <p>「設定」の下の選択ボタンを押します。</p>	

内容の確認のしかた

内容の確認をするときは、取り消しのしかたの4の操作を省いてください。

ドアホンの相手と通話します

ドアホン

ドアホンからの呼び出しに電話機で応答したり、電話機からドアホンを呼び出して通話することができます。ドアホンはドアホン1、2の2つを接続できます。

オプション データ設定



応答のしかた

ドアホンからの着信音「ピンポン・ピンポン」または「ピーン・ポーン」が鳴ったら受話器をとってお話してください。
着信音は2秒間鳴ります。また、ドアホン側にも呼出音が鳴ります。

ご注意

- ドアホン1の着信音は「ピンポン・ピンポン」、ドアホン2の着信音は「ピーン・ポーン」になります。
- ドアホンが鳴ってから10秒間は、受話器をとって応答することができます。

着信音の鳴っていない電話機での応答



ドアホンからの着信音がどの内線電話に鳴るのかをあらかじめデータ設定する必要がありますが、着信音が鳴っている電話機以外の電話機からドアホンに応答するときはつぎのようにします。

	<p>1 受話器をとります。</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2 ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプをⓐの位置にもっていきます。</p> <div data-bbox="916 1128 1185 1186" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 自己保護 ドアホン 会議通話 代理応答 </div>
<p>ドアホン</p>	<p>3 ドアホン の下の選択ボタンを押します。</p> <div data-bbox="916 1298 1185 1340" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ドア </div>
	<p>4 ダイヤルボタンの①を押します。</p> <div data-bbox="916 1472 1185 1514" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ドア / </div>

ご注意

- (“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo.001)で“ドアホン1または2を接続している”(1)を設定してください。P131)
 (“データ設定”の“電話機別データ”(プログラムNo.020~029)で“ドアホン1または2からの着信音を鳴らす”(1)または“鳴らさない”(0)に設定してください。P135)

呼び出しのしかた



	<p>1 受話器をあげます。</p>	<p>外線</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2 ファンクションボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>自己保留 ドアホン 会議通話 代理の番</p>
<p>ドアホン</p>	<p>3 ドアホン の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>ドア</p>
	<p>4 ドアホンの番号(1または2)を押します。</p>	<p>ドア 1</p>

ご注意

- データ設定により、前もってドアホンと自分の電話機の両方に予告音を出すことができます。 ("データ設定"の"システム全体のデータ"(プログラムNo.001)で"ドアホン、構内放送の呼び出しの前に予告音を鳴らす"(1)に設定してください。P.131)

センサーと連動して警告音を出します

センサーアラーム

例えば、超音波センサー装置を接続して、来客時に電話機を鳴らすことができます。

オプション データ設定



- 警告音は未使用の電話機すべて(単独電話機は除く)に鳴ります。
- 警告音は3分間鳴り続けます。途中で止める場合は、警告音の鳴っている電話の任意のボタン(未登録のワンタッチダイヤルボタン・ファンクションボタン・電卓ボタンは除く)を押してください。
- データ設定により、“センサー”を“ドア着信”に設定した場合は、ドアホン1からの着信動作と同一となります。
 (“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo.002)で“センサーを警報”(1)または“ドア着信”(2)に設定してくださいP.132)
- ご使用の際は、販売店または工事店へご相談ください。

外部スピーカ を使って 放送します

構内放送

外部スピーカ(オプション)を通して放送ができます。

オプション

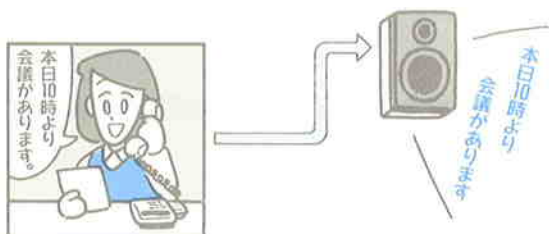
データ設定



	<p>1 受話器をあげます。</p>	<p>外線</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2 ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	<p>自己保留 ドアホン 会議通話 代理のき</p>
<p>ドアホン</p>	<p>3 ドアホン の下の選択ボタンを押します。</p>	<p>ドア</p>
	<p>4 ダイヤルボタンの③を押します。</p>	<p>放送</p>

ご注意

- 使用する際は、データ設定の“システム全体のデータ”(プログラムNo.001)で“構内放送・ベル拡声をする”(1)に設定してください。P.131)
- データ設定により、前もって予告音を出すことができます。
 (“データ設定”の“システム全体のデータ”(プログラムNo.001)で、“ドアホン、構内放送の呼び出しの前に予告音を鳴らす”(1)に設定してください。P.131)
- ドアホンを使用中はこの機能は使えません。
- ベル拡声が鳴っているときは、この機能は使えません。





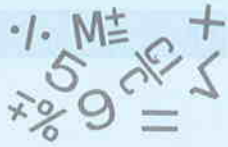

ディスプレイ を使って 計算をします

電卓

10桁の計算ができます。



Eタイプ電話機を除く

	1	ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。	電卓 設定 アラーム 一頁
	2	電卓 の下の選択ボタンを押します。	+- x+ 0.
	3	計算ができます。 計算のしかた(→P. 91)	
	4	もういちど 電卓 の下の選択ボタンを押すと、電話の状態にもどります。 メモリに記憶された数値は保存されます。	14 17-22

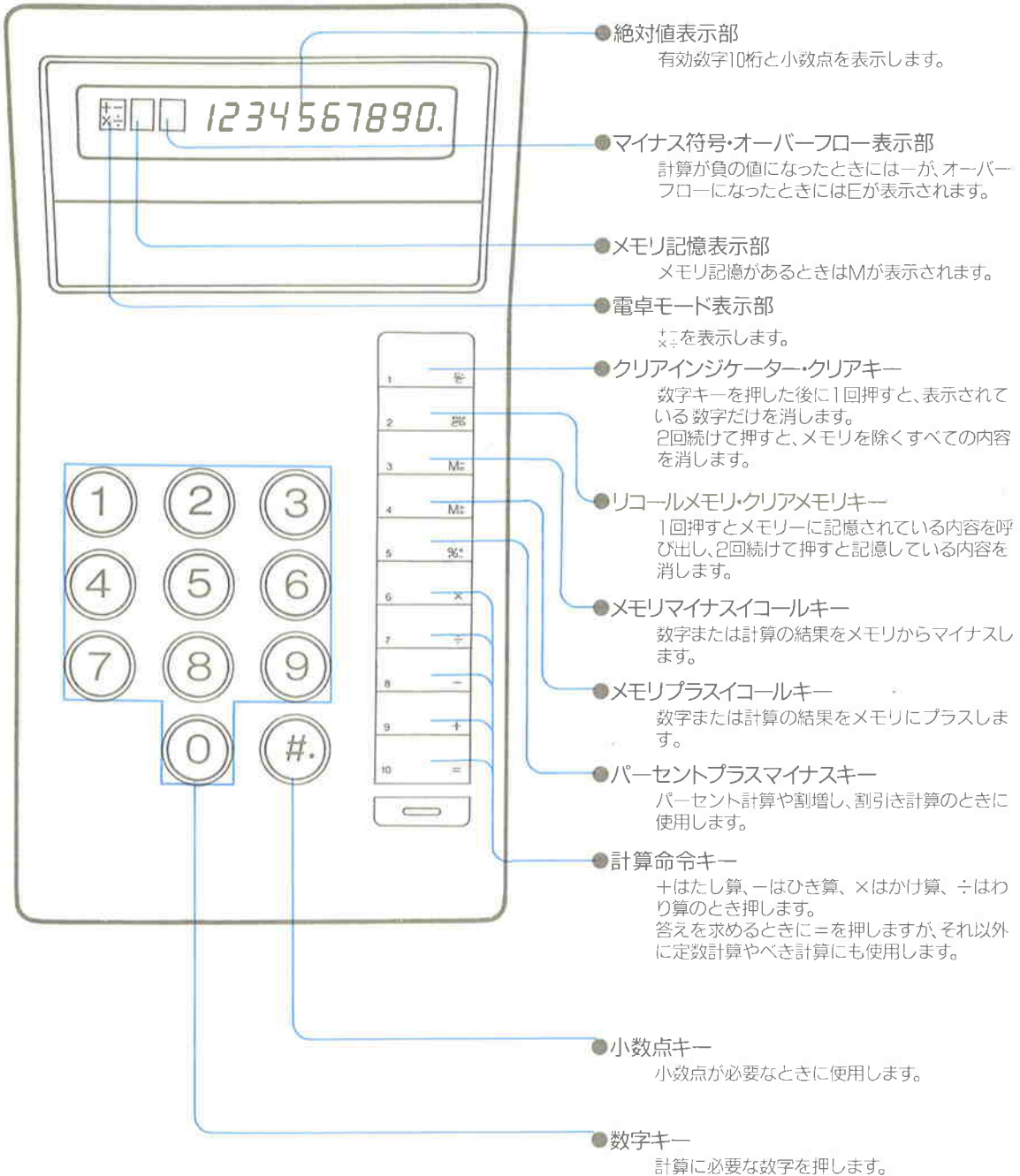
ご注意

- 通話の途中で電卓に切替えて計算することもできます。
- 計算の途中で以下の動作で電話に切替わります。

1. 受話器をあげる。
2. スピーカーボタンを押す。
3. 他の人が使っていない外線ボタンを押す。
4. 5分間何のボタンも押さない。

1~3で電話を切れば、自動的に電卓に切替わります。そのときに演算の状態はもとのままです。

各部の名称とはたらき



計算のしかた

■加減算(たし算・ひき算)

$$8 + 3 + 5.5 = 16.5$$

$$8 \boxed{+} 3 \boxed{+} 5 \textcircled{#} 5 \boxed{=}$$



$$4 - 7 - 3 = -6$$

$$4 \boxed{-} 7 \boxed{-} 3 \boxed{=}$$



■乗除算(かけ算・わり算)

$$-3.6 \times 1.7 = -6.12$$

$$\boxed{-} 3 \textcircled{#} 6 \boxed{\times} 1 \textcircled{#} 7 \boxed{=}$$



$$592 \div 4.8 = 123.3333333$$

$$592 \boxed{\div} 4 \textcircled{#} 8 \boxed{=}$$



■四則混合計算(加減乗除算の混じった計算)

$$9 \div 5 \times 3.2 + 7 = 12.76$$

$$9 \boxed{\div} 5 \boxed{\times} 3 \textcircled{#} 2 \boxed{+} 7 \boxed{=}$$



$$(2 + 4) \div 3 \times 8.1 = 16.2$$

$$2 \boxed{+} 4 \boxed{\div} 3 \boxed{\times} 8 \textcircled{#} 1 \boxed{=}$$



■定数計算(きまった数をかけたり、わったりする計算)

$$2 + \underline{3} = 5$$

$$2 \boxed{+} 3 \boxed{=}$$



$$4 + \underline{3} = 7$$

$$4 \boxed{+} \boxed{=}$$



$$\underline{2} \times 3 = 6$$

$$2 \boxed{\times} 3 \boxed{=}$$



$$\underline{2} \times 4 = 8$$

$$4 \boxed{\times} \boxed{=}$$



$$6 \div \underline{3} = 2$$

$$6 \boxed{\div} 3 \boxed{=}$$



$$9 \div \underline{3} = 3$$



$$9 \boxed{\div} \boxed{=}$$



ご注意



定数たし算ではたす数、定数ひき算ではひく数、定数かけ算ではかけられる数、定数わり算ではわる数が自動的に定数となります。

■ 自乗・べき計算

$3^2 = 9$	$3 \times [=]$	
$3^4 = 81$	$3 \times [=] [=] [=] [=]$ (4-1)	


④ [=] キーをn-1回押すことによりn乗が得られます。

■ 逆数計算(逆数とは1をある数で割った数です。)


$1/2 = 0.5$	$2 \div [=]$	
$\frac{1}{2 \times 3 + 4} = 0.1$	$2 \times 3 + 4 \div [=]$	

④ [=] キーを続けて押すと逆数が得られます。


■ パーセント計算(200円の17%はいくらかを求めるときには次のようにします。)

$200 \times 17\% = 34$	$200 \times 17 [\% \pm]$	
------------------------	--------------------------	--




■ 割増計算 (一定の金額にその何%かの額を加える計算です。
(200円の20%増しを求めるときには次のようにします。))

$200 + (200 \times 20\%) = 240$	$200 \times 20 [\% \pm] +$ $200 + 20 [\% \pm] [=]$	
---------------------------------	---	--












■ 割引計算 (一定の金額より何%か安くするときの計算です。
(200円を20%割引にするといくらかを求めるときには次のようにします。))






$200 - (200 \times 20\%) = 160$	$200 \times 20 [\% \pm] -$ $200 - 20 [\% \pm] [=]$	
---------------------------------	---	--

■定数パーセント (定数のかけ算のように、かけられる数は一定、
かける数はパーセントを含む計算です。)

$1500 \times 12\% = 180$	$1500 \times 12 \% \pm$	
$1500 \times 15\% = 225$	$15 \% \pm$	
$1500 \times 17\% = 255$	$17 \% \pm$	

■メモリ計算

<p>メモリクリア $(35 + 76) + (25 \times 5)$ $+ (55 + 16) = 307$</p> <p>$35 + 76 = 111$ $25 \times 5 = 125$ $+ 55 + 16 = 71$</p> <p>小計 307</p> <p>$307 - (37 + 75) - 66 = 129$ $37 + 75 = 112$ $- 66$</p> <p>合計 129</p>	<p> </p> <p>$35 + 76 = M \pm$</p> <p>$25 \times 5 = M \pm$</p> <p>$55 + 16 = M \pm$</p> <p></p> <p>$37 + 75 = M \pm$</p> <p>$66 M \pm$</p> <p></p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>
--	---	--


<p>メモリクリア $100 + 200 + 300 +$ $400 + 500 = 1500$</p> <p>下線部だけの和を メモリ内に求めます。</p>	<p> </p> <p>$100 M \pm + 200 M \pm + 300$ $+ 400 M \pm + 500 =$</p> <p></p>	<p></p> <p></p>
---	---	---

10桁を越えた計算について(オーバーフロー)

次のような場合には、オーバーフロー表示 E を表示して計算ができなくなります。
次の計算を始めるには $\frac{ON}{C}$ キーを押して、E を消してください。

1. 計算結果の整数部分が10桁を越える場合

計算結果は上から10桁のみを表示し、小数点は、消去された桁数分だけ最上位桁からまわり込んだ位置に表示します。(20桁までは、上位10桁とEを表示してロックします。)

(例) $11111111 \times =$ 

$11111111 \times = 1234567654321$

2. メモリ内容の整数部分が10桁を越えた場合

ディスプレイに 0 が表示されます。



オーバーフローする前のメモリの内容は $\frac{ON}{C}$ キーを押した後に $\frac{RM}{CM}$ キーを押すことにより、呼びもどすことができます。

3. わる数が0のわり算をしたとき

ディスプレイに0が表示されます。

(例) $200 \div 0 =$





PART 7

料金計算と料金表示

本機の通話料金計算と表示は電話局で集計した料金等の内容と同一とは限りません。集計結果に差異が生じた場合でも、公式データとして電話局に提出・申し立てはできません。

通話中の 時間と料金を 表示します。

通話料金表示

外線に電話をかけたときに通話時間と料金が表示されます。

データ設定



料金	5分	20円
----	----	-----

外線通話時

会議	5分	20円
----	----	-----

会議通話時

ご注意

- 通話料金表示をさせるためには、各種のデータ設定が必要となります。詳しくは“料金計算・表示のデータ設定”(→P. 102)をごらんください。
- 通話を保留しているとき、料金表示はされませんが、料金はカウントされます。保留を解除し、通話を始めると再び料金表示されます。
- 自分から外線に電話をかけ、それを他の外線に転送した場合でも、通話料金は自分の電話機でカウントされます。
- 会議通話で、他の二者に自分から電話をかけた場合の電話料金は両通話の合計額が表示されます。

使用料金の 累計をメータ 表示します。

料金メータ表示

電話機ごとに使用料金をメータ表示します。



ご注意

- 料金メータ表示をさせるためには、各種のデータ設定が必要になります。詳しくは“料金計算・表示のデータ設定”(→P. 102)をごらんください。
- メータ表示は設定した料金を1単位として10単位まで表示されます。ただし、料金単位を0円に設定した場合は、料金メータ表示されません。料金単位の設定は 108 ページをごらんください。
- メータ表示は、登録や設定の操作中を除いて常時表示されます。
- 国際電話の使用料金は表示できません。

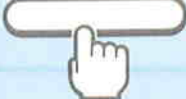
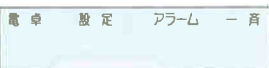






使用料金を集計します

料金集計表示

通話料金を電話機ごと、外線ごとに表示できます。

電話機ごとの集計のしかた




<p>1</p> <p>ファンクション</p> 	<p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>2</p> <p>設定</p> 	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p> 	<p>ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>→ 端子番号 0 の電話機の料金が表示されます。</p>	
<p>4</p> 	<p>調べたい電話機の端子番号をダイヤルボタンで押します。</p> <p>→ 集計料金が表示されます。</p>	

PART 7

料金計算と料金表示

設定 **5** 「設定」の下の選択ボタンを押します。 14 17-22



ご注意
 ○料金計算に関する各種データを設定した場合にのみ有効です。それ以外は正確な料金は表示されません。

端子番号とは.....工場出荷時、端子番号と内線番号は下記の様に対応しています。データ設定によって内線番号を変更した場合は「内線番号表示」(→P.71)によって端子番号を調べてください。

端子番号	内線番号
0	10
1	11
2	12
3	13
⋮	⋮
9	19

外線ごとの集計のしかた







ファンクション **1** 「ファンクション」ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。 電卓 設定 アラーム 一音

設定 **2** 「設定」の下の選択ボタンを押します。 設定

4 **3** ダイヤルボタンの④を押します。 外線 1 1500円

→ 外線1の集計料金が表示されます。




4

調べたい外線ボタンの番号をダイヤルボタンで押します。

→ 集計料金が表示されま
ず。

外線 **2** **2500**円

設定



5

設定 の下の選択ボタンを押します。

14 **17-22**

集計の消去のしかた


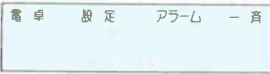

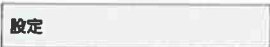


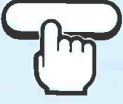

電話機ごとの集計を消去したい場合は、98ページの5の操作の前に
取消 ボタンを押します。
 外線ごとの集計を消去したい場合は、100ページの5の操作の前に
取消 ボタンを押します。

ご注意

- 一度に複数の消去を行なうときは、4の操作と取消ボタンを押すのを繰り返してください。

各電話機での集計のしかた

各電話機でも自分の電話機の通話料金
ならば集計できます。

<p>1</p> <p>ファンクション</p> 	<p>ファンクション ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>2</p> <p>設 定</p> 	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツーン・ツーン」音が聞こえます。</p>	
<p>3</p> 	<p>ダイヤルボタンの9を押します。</p>	
<p>4</p> <p>設 定</p> 	<p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p>	

ご注意

○4の操作をしなくても表示は10秒間で消えます。

料金計算・表示 のデータ設定

これらのデータは本装置を設置する時にお客様の要望に応じて設置工事担当者が設定いたします。
したがって通常この操作は不要です。設定内容を変更したい時のみご利用ください。また、内容、用語等に不明な点がありましたら工事店または販売店の担当者へご相談ください。
なお、設定はマスター電話機に限ります。

データ設定の手順

手順	内 容	プログラムNo.	詳しい説明ページ
1.	時計を合わせる	003	105
2.	曜日を合わせる	002	105
3.	料金ランクの設定をする	040～239	106
4.	料金メータ表示の料金単位を設定する	030～039	107
5.	通話料金表示を“する”に設定する	030～039	108
6.	接続回線種別を設定する	010～013	109
7.	“春分の日”“秋分の日”の確認をする	281～290	110

ご注意

- プログラムNo.はデータ設定を行うとき必要です。
- 手順5、6を行えば料金表示はされますが、より正確な料金表示を行うために、手順1～7の操作をされるようおすすめします。


データ設定のしかた

"データ設定の手順"に従ってデータ設定を行います。

(例)"手順1. 時計を合わせる"を行うとき



	<p>1</p> <p>102 ページからの資料を参照し、これらの項目の設定プログラムNo.を調べます。</p> <p>この場合はプログラムNo.003となります。</p>
<p>ファンクション</p>	<p>2</p> <p>ファンクション ボタンを押して、機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>
<p>設定</p>	<p>3</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→スピーカから「ツー・ツ一」音が聞こえます。</p>
	<p>4</p> <p>ダイヤルボタンの*を押します。</p>
	<p>5</p> <p>プログラムNo.をダイヤルボタンで入力します。</p> <p>この場合は"003"となります。</p> <p>カーソル</p>




6

プログラムNo.についての詳しい説明が載っているページを参照し、数値を入力します。

この場合は、105ページを参照します。
数値の入れかたは欄外をごらんください。

設定



7

もう一度「設定」の下の選択ボタンを押します。

14
17-22

数値の入れ方

1. ワンタッチダイヤルボタン + - を押してカーソルを入力したい場所まで移動させます。
 - +……カーソルは右へ移動します。
 - ……カーソルは左へ移動します。
2. つぎにダイヤルボタンを使って数字を入力します。まちがえたときはまちがえた所へカーソルを移動して正しい数字を入れ直します。
3. 1. 2. の操作をくり返して全ての数値を入力します。

ご注意

- 6の操作の前にダイヤルボタンのⓂを押すと、次のプログラムが表示されます。複数のデータ設定を行う際に便利です。
- プログラムNo.を間違えて入力した場合は、Ⓜを押してから入力し直してください。
- 続けて異なるプログラムNo.の数値を変更する場合は、5の操作の次に3の操作にもどってください。

詳しい説明

1

時計を合わせる

プログラムNo. 003

正しい年月日、時刻が入力されていないと正確な料金計算がされません。

例：1988年7月20日 午後3時34分に設定するとき



1	年	西暦の下2桁を入れます。
2	月	2桁(1桁のときは前に0を付けます)で入れます。
3	日	2桁(1桁のときは前に0を付けます)で入れます。
4	時	2桁(1桁のときは前に0を付けます)で入れます。
5	分	2桁(1桁のときは前に0を付けます)で入れます。

※24時間制で入力します。

2

曜日を合わせる

プログラムNo. 002

料金計算をする時、土・日の割引料金を算出するためのデータとなります。

例：金曜日に設定するとき



0…日 1…月 2…火 3…水 4…木 5…金 6…土

※他の数値は変更しないようご注意ください。

通話相手との距離が本機に入力されないと通話料金が計算されません。相手との距離は相手の市外局番が料金ランクのどこに属するのかを設定することで決定されます。

よく電話をかける相手の市外局番とその市外局番の属する料金ランクを入力しておきます。

〈料金ランク表〉

		料金ランク	10円で話せる秒数(単位通話時間)			
区域内通話		01	3分			
隣接区域内通話		02	80秒			
区	通話地域間距離	03				
	20キロメートルまで					
	30キロメートルまで	04	38秒			
	40キロメートルまで	05	30秒			
	60キロメートルまで	06	21秒			
	外 通 話		07	昼	間	夜
				日祝日・祝日		
80キロメートルまで			15.5秒	21秒	21秒	
100キロメートルまで		08	13.5秒	21秒	21秒	
120キロメートルまで		09	10.5秒	18.5秒	18.5秒	
160キロメートルまで		10	10.5秒	18.5秒	18.5秒	
240キロメートルまで		11	7秒	12.5秒	12.5秒	
320キロメートルまで		12	7秒	12.5秒	12.5秒	
320キロメートルを超えるもの	13	5秒	8.5秒	深夜		
				8.5秒	9秒	

(1988年4月現在)

例:市外局番045(横浜市)とその料金ランクを設定するとき

東京23区内から横浜市内(一部を除く)に10円で38秒間通話ができますから料金ランクは04となります(料金ランク表参照)。



プログラムNo.は
040～239まで
全部で200カ所
の市外局番を
入力できます。

1	市外局番	0を除いた料金ランク決定までの数字*を入れます (この場合は"045"の"0"を除いた"45")
2	料金ランク	01～20

*料金ランク決定までの数字とは

本機が東京23区内に設置されている場合、

0434、0436、0438、0439(千葉県内の市)に全て10円で30秒間通話できます(料金ランク05)。

このときもし上記4つの市外局番の下1桁"4" "6" "8" "9"が無くても料金ランクは変わりません。

したがって料金ランク決定までの数字は上記4つの市外局番の場合、上3桁"043"というようになり、

頭の"0"を除いた"43"を市外局番として 43 .05. のように

1つ設定すれば上記市外局番1つ1つについて設定する必要がなくなります。

4

料金メータ表示の料金単位を設定する

プログラムNo. 032～039

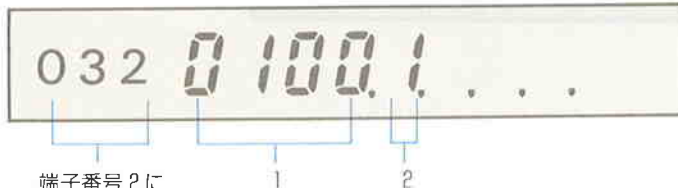
料金メータ表示の1単位をいくらに設定するかそれを入力します(料金メータ表示については97ページをごらんください)。1単位を0円に設定した場合は料金メータ表示されません。

通話料金表示(97 ページ)を行うように設定します。

㊦、㊧ は各電話機ごとに設定してください。プログラムNo.と各電話機の対応はつぎの通りとなります。

プログラムNo.	電話機の種類
032	端子番号2に接続されている電話機の設定をするとき
⋮	⋮
⋮	⋮
039	端子番号9に接続されている電話機の設定をするとき

例： 端子番号2に接続されている電話機について料金メータ表示の料金単
位を1000円にし、通話料金表示もされるよう設定するとき



端子番号2に
接続されてい
る電話機の設
定をしている
ことを示しま
す。

1	料金メータ表示の 料金単位	10円単位で0円～99,990円まで入力できます。 入力するときは下1桁の0を除いてください。 例：1000円→100→0100で入力します
2	通話料金表示を行うか 行わないか	0……行わない 1……行う

※他の数値は変更しないようご注意ください。

6

接続回線種別を設定する

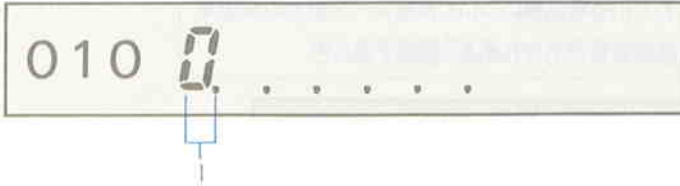
プログラムNo. 010～013

本機の外線がNTT回線に接続されているのか、構内交換機(PBX)に接続されているのか、接続されている回線に応じた設定をします。

設定は各外線ごとに設定してください。プログラムNo.と各外線との対応はつぎの通りとなります。

プログラムNo.	外線の種類
010	外線1について設定するとき
011	外線2について設定するとき
012	外線3について設定するとき
013	外線4について設定するとき

例：外線1がリバース*のあるNTT回線に接続されているとき



1	回線種別	0…外線がNTT回線に直接接続されているとき(リバースあり) 1…外線がNTT回線に直接接続されているとき(リバースなし、CES回線等) 2…外線が構内交換機(PBX)に接続されているとき(リバースあり) 3…外線が構内交換機(PBX)に接続されているとき(リバースなし) スペース…外線が何にも接続されていないとき
---	------	--

*リバースについて

ご使用になる外線がリバースありかリバースなしかの設定については工事担当者または販売店の担当者へご相談ください。

※他の数値は変更しないようご注意ください。

祝祭日は通話料金が通常の日と異なります。プログラムNo.281～290に祝祭日を最大20日分設定できます。工場出荷時にすでに祝祭日と正月の三箇日などの料金割引日は設定されていますので、ここでは春分の日と秋分の日を確認します(春分・秋分の日はその年によって変わりますので工場出荷値と異なる場合は訂正してください)。

例：春分の日(3月21日の場合)、秋分の日(9月23日の場合)を確認するとき

※秋分の日はプログラムNo.283に、秋分の日(9月23日)はプログラムNo.286に設定されています。



料金体系改訂時のデータ設定

NTTの料金体系が変更された場合のデータ設定です。
データ設定のしかたは103ページと同じです。

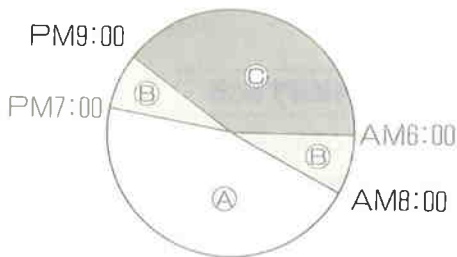
1

夜間割引、深夜割引の時間帯の設定

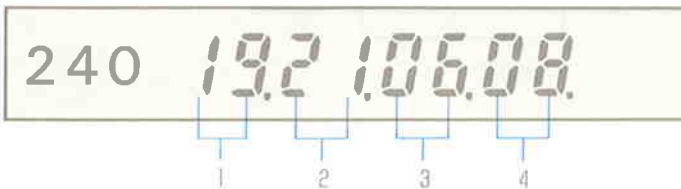
プログラムNo. 240

夜間割引、深夜割引の時間帯を設定します。

例：下のように設定するとき



- Ⓐ通常(昼間)料金時間
AM8:00～PM7:00
- Ⓑ夜間割引時間
PM7:00～AM8:00
- Ⓒ深夜割引時間
PM9:00～AM6:00



1	通常(昼間)料金→夜間割引料金になるときの時間(例：Ⓐ→Ⓑ)を設定します。
2	夜間割引料金→深夜割引料金になるときの時間(例：Ⓑ→Ⓒ)を設定します。
3	深夜割引料金→夜間割引料金になるときの時間(例：Ⓒ→Ⓑ)を設定します。
4	夜間割引料金→通常(昼間)料金になるときの時間(例：Ⓑ→Ⓐ)を設定します。

※時間は24時間制で入力します。

各料金ランク別に単位通話時間(10円で話せる秒数)を設定します。

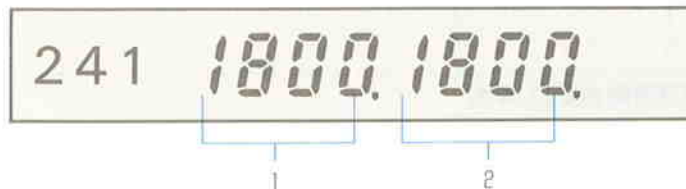
●通常日(昼間)の単位通話時間と土・日・祝日(昼間)の単位通話時間の設定

プログラムNo.と各料金ランクの対応はつぎの通りとなります。

プログラムNo.	料金ランクの種類
241	料金ランク01の単位通話時間を設定するとき
242	料金ランク02の単位通話時間を設定するとき
243	料金ランク03の単位通話時間を設定するとき
⋮	⋮
260	料金ランク20の単位通話時間を設定するとき

例：料金ランク01における通常日(昼間)の単位通話時間と土・日・祝日(昼間)の単位通話時間を3分に設定するとき

※入力単位は0.1秒です。3分は180秒ですから入力値は1800となります。



1	通常日(昼間)の単位通話時間を設定します。
2	土・日・祝日(昼間)の単位通話時間を設定します。

● 夜間の単位通話時間と深夜の単位通話時間の設定

プログラムNo.と各料金ランクの対応はつぎの通りとなります。

プログラムNo.	
261	料金ランク01の 単位通話時間を設定するとき
262	料金ランク02の 単位通話時間を設定するとき
263	料金ランク03の 単位通話時間を設定するとき
⋮	⋮
280	料金ランク20の 単位通話時間を設定するとき

例：料金ランク01における夜間の単位通話時間と
深夜の単位通話時間を3分に設定するとき

※入力単位は0.1秒です。3分は180秒ですから入力値は1800となります。



1	夜間の単位通話時間を設定します。
2	深夜の単位通話時間を設定します。

3

祝祭日の設定

プログラムNo. 281～290

祝祭日は通話料金が通常日と異なります。ここでは年間の祝祭日を最大20日分設定できます。(1プログラムに2日分設定可能)。正月の三箇日なども料金割引日となりますので一緒に設定します。

例：1月1日、1月2日を祝祭日として設定するとき



※工場出荷時にすでに祝祭日と料金割引日は設定されています。春分の日と秋分の日はその年によって変わりますので確認のうえ訂正してください。なお、振替休日は自動的に設定されます。

4

単位通話料金の設定

プログラムNo. 291

NTTの単位通話料金を設定します。

例：単位通話料金を10円に設定するとき

A rectangular LCD display with a light green background. The text '291 10.' is shown in a black, segmented font. The '10' is larger than the '291'.

5

市内無料ダイヤルの設定

プログラムNo. 292～295

通話料金計算の対象外となる無料ダイヤル(市内)を設定します。
最大8ダイヤルまで設定できます。

例：110、119を設定するとき

A rectangular LCD display with a light green background. The text '292 110 . 119 .' is shown in a black, segmented font. The '110' and '119' are larger than the '292'.

6

市外無料ダイヤルの設定

プログラムNo. 296～299

通話料金計算の対象外となる無料ダイヤル(市外)を設定します。
最大8ダイヤルまで設定できます。

例：0120を設定するとき(上1桁の0は省いて登録します)

A rectangular LCD display with a light green background. The text '296 120 .' is shown in a black, segmented font. The '120' is larger than the '296'.

NCC回線使用時のデータ設定

NCC回線を使用した通話を行ったときでも、正しい料金表示がされる様に各種設定を行います。NCCとは第二電電、日本テレコム、日本高速通信などのNTT以外の通信事業者のことをいいます。

●各種データとプログラムNo.

	内 容	プログラムNo.			
		300	305	395	
1.	市外局番の登録 ^(※1)	300	305		395
2.	NCC特番の登録 ^(※1)	301	306		396
3.	発信側NTT回線使用料金についての設定 ^(※2)	302	307	~	397
4.	NCC回線使用料金についての設定 ^(※2)	303	308		398
5.	着信側NTT回線使用料金についての設定 ^(※2)	304	309		399

※最大20ダイヤル分の登録が可能です。

注1) NCC回線を使って通話するときのダイヤル

例えば03-348-2121に対してNCC回線を使ったダイヤルをするときはこの電話番号の前にNCC特番*と呼ばれる識別番号をつける必要があります。

×××× - 03-348-2121
NCC特番 市外局番

*NCC特番にはつぎのようなものがあります

第二電電(DDI) 0077

日本テレコム(JT) 0088

日本高速通信(TWJ) 0070

しかし上記の1. 2.の登録を行えば03-348-2121とダイヤルするだけで自動的にNCC回線を使ったダイヤルとなります。

注2) NCC回線使用料金について

NCCは加入者と加入者を直接回線で結んでいるものではなく市外電話に対する回線を用意しているだけで、NTT加入者回線と相互接続してサービスを提供しています。したがって料金計算については、発信側NTT回線使用料金、NCC回線使用料金、着信側NTT回線使用料金の3つに分けて計算データを入力する必要があります。なお、時間割引、休日割引は設定できません。

(例)



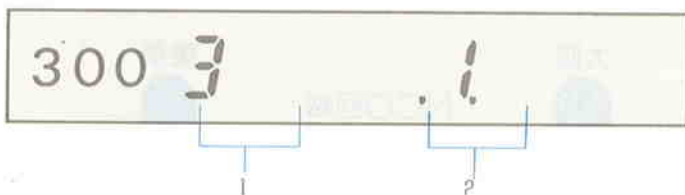
各種データの設定

1

NCC回線使用時の市外局番の登録

プログラムNo.
300、305～395

例：NCC回線を利用したダイヤル0077-03-348-2121のうち市外局番の03を設定するとき(リバーズありの場合)



- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 0を除いた市外局番を設定します。 |
| 2 | 0…リバーズなし 1…リバーズあり |

2

NCC特番の登録

プログラムNo.
301、306～396

例：NCC特番0077(第二電電)を登録するとき



※NCC特番の他にポーズ(外線ボタンによって入れます)、PB新号送出(※ボタンによって入れます)を含めて最大10桁まで登録できます。

PB信号送出を登録するときは受話器をあげて※ボタンを押してください。

3

発信側NTT回線使用料金についての設定

プログラムNo.
302、307～397

発信側NTT回線の単位通話時間と単位通話料金を設定します。

例：単位通話時間を80秒、単位通話料金を10円に設定するとき

※単位通話時間の入力単位は0.1秒です。
入力値は800となります。



1	単位通話時間を設定します。
2	単位通話料金を設定します。

4

NCC回線使用料金についての設定

プログラムNo.
303、308～398

NCC回線の単位通話時間と単位通話料金を設定します。

例：単位通話時間を4.5秒、単位通話料金を7円に設定するとき

※単位通話時間の入力単位は0.1秒です。
入力値は45となります。



1	単位通話時間を設定します。
2	単位通話料金を設定します。

5

着信側NTT回線使用料金についての設定

プログラムNo.

304、309～399

着信側NTT回線の単位通話時間と単位通話料金を設定します。

例：単位通話時間を3分、単位通話料金を10円に設定するとき

※単位通話時間の入力単位は0.1秒です。
3分は180秒ですから入力値は1800となります。



1	単位通話時間を設定します。
2	単位通話料金を設定します。

PART 8

ファクシミリの送受信のしかた
(Eタイプ電話機)


通話後ファクシミリの 手動受信を行ないます

手動受信

外線と通話状態の電話を接続されているファクシミリに転送してファクシミリの手動受信を行ないます。



	<p>1</p> <p>着信音が鳴ったらEタイプ電話機の受話器をとって電話に出ます。</p> <p>もしくは相手に電話をかけて通話状態にします。</p> <p>➡ 相手がファクシミリを自動送信してきたときは、「ピー」という音が聞こえます。また相手が手動送信をしようとしたときは、通話後、受話器を持ったまま以下の操作を進めます。</p>	<p>外線</p> <p>または</p> <p>外線 7582111</p>
<p>ファクス</p> 	<p>2</p> <p>「ファクス」 ボタンを押します。</p> <p>➡ 電話がファクシミリに接続されるまでファクスランプが赤色の早い点滅になります。</p>	<p>FAX 切替</p> <p>電話をかけたときは、「FAX切替」などの表示の次に相手の電話番号または通話料金が表示されます。</p>
	<p>3</p> <p>Eタイプ電話機の受話器をもどします。</p>	<p>FAX 切替</p>
 <p>FAX</p>	<p>4</p> <p>ファクシミリに付属している電話機の受話器をあげます。(ファクシミリに電話機が付いていない場合は、この操作をとばします。)</p> <p>➡ 電話がファクシミリに接続されるとファクスランプが通常の点滅に変わります。</p>	<p>FAX 接続</p>
<p>スタート</p> 	<p>5</p> <p>ファクシミリの 「スタート」 ボタンを押します。受信がスタートします。</p>	<p>FAX 接続</p>



6

ファクシミリに付属している電話機の手話器をもどします。
(ファクシミリに電話機が付いていない場合は、この操作は不要です。)

➡ 受信が終了するとファクシミリランプが消え、通話前の表示にもどります。

FAX 接続

↓

14 17-22

ご注意

- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ1でEタイプ電話機の代わりにファクシミリ付属電話機から電話をかけて通話状態にしてファクシミリを受信することもできます。その場合は、ステップ5へ進んでください。
- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ3でEタイプ電話機の手話器をあげたままにしているときは、ファクシミリ受信後通話状態にもどります。
- 通話中誤って「ファクス」ボタンを押して通話がとぎれてしまったときは、もう一度「ファクス」ボタンを押して通話を再開します。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話警報などの呼出音、警告音は鳴りません。話中呼出、話中着信、長時間通話警報については、54、74、77ページをご覧ください。

通話後ファクシミリを呼出して自動受信を行ないます

自動受信 1

外線と通話状態の電話を * キーを押して接続されているファクシミリを呼出すことにより、ファクシミリの自動受信を行ないます。

この自動受信を行なうにはあらかじめファクシミリを自動受信モードにセットしておく必要があります。(セットのしかたについては、ファクシミリの操作説明書をご覧ください。)



	<p>1</p> <p>着信音が鳴ったらEタイプ電話機の受話器をとって電話に出ます。</p> <p>もしくは相手に電話をかけて通話状態にします。</p> <p>➔ 相手がファクシミリを自動送信してきたときは、“ピー”という音が聞こえます。また相手が手動送信をしようとするときは、通話後、受話器を持ったまま以下の操作を進めます。</p>	<p>外線</p> <p>または</p> <p>外線 7582111</p>
	<p>2</p> <p>[ファクス] ボタンを押します。</p> <p>➔ ファクスランプが赤色の早い点滅になります。</p>	<p>FAX 切替</p>
	<p>3</p> <p>ボタンを押してファクシミリを呼出します。呼出し後、ファクシミリが自動応答し、受信がスタートします。</p> <p>➔ ファクスランプが通常の点滅に変わります。</p> <p>➔ ファクシミリに接続されると表示は右のように変わります。</p>	<p>FAX 呼出</p> <p>↓</p> <p>FAX 接続</p>
	<p>4</p> <p>受話器をもどします。</p> <p>➔ 受信が終了するとファクシミリランプが消え、通話前の表示にもどります。</p>	<p>FAX 接続</p> <p>↓</p> <p>14 17-22</p>

ご注意

- ステップ3でファクシミリ呼出し後、1分以内にファクシミリと接続することができない場合は、通話状態にもどします。ただし、そのときに受話器がもどした状態であるならば電話は切れます。
- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ3で * を押す前にファクシミリ付属電話機の受話器があげられているときは、通常の手動受信の操作 (121ページ参照) を行なってください。
- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ4でEタイプ電話機の受話器をあげたままにしているときは、ファクシミリ受信後通話状態にもどります。
- 通話中に誤って [ファクス] ボタンを押して通話がとぎれてしまったときは、もう一度 [ファクス] ボタンを押して通話を再開します。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話情報などの呼出音、警告音は鳴りません。

ファクシミリを常に自動受信するようにセットします





自動受信②

外線からかかってきた電話を受信操作をすることなしに直接ファクシミリを呼出してファクシミリの自動受信を行います。

この自動受信を行なうにはEタイプ電話機をあらかじめファクシミリ自動受信モードにセットしておきます。また、接続されているファクシミリを自動受信モードにセットしておかなければなりません。(セットのしかたについては、ファクシミリの操作説明書をご覧ください。)

自動受信モードのセットのしかた

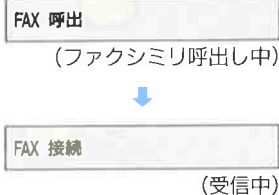
	1	Eタイプ電話機の手話器が置いた状態になっていることを確認します。	14 17-22
	2	[ファクス] ボタンを押します。ファクシミリの自動受信モードにセットされました。 ④ ファクスランプが赤色に点灯します。	14 17-22

自動受信モードの解除のしかた

自動受信モードを解除するときは、セットしたときの操作と同じ操作を行いません。ファクスランプが消灯します。

ご注意

- Eタイプ電話機が鳴っているときは、自動受信モードの設定を変えることはできません。
- 自動受信モード設定中に電話がかかるとファクスランプが赤色の点滅になり、表示が下記のようにになります。お使いのファクシミリに電話機が付いていない場合は、ファクシミリを呼出し中、Eタイプ電話機が鳴ります。(ファクシミリに電話機が付いているときは、Eタイプ電話機は鳴りません。)



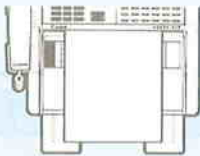


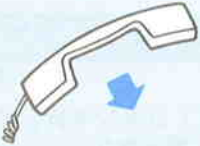
- ファクシミリ呼出し中にEタイプ電話機で応答するときは、[ファクス] ボタンを押してからEタイプ電話機の手話器をとって電話に出ます。お使いのファクシミリに電話機が付いていない場合は、Eタイプ電話機の手話器をとるだけで電話に出ることができます。
- Eタイプ電話機からファクシミリを呼出してから1分以内にファクシミリが応答しない場合は、ディスプレイが受信前の表示にもどります。このときEタイプ電話機の手話器をとって電話に出ることができます。
- 自動受信モードにセットされていてもEタイプ電話機やファクシミリに付属している電話機から電話をかけることができます。




通話後ファクシミリの 手動受信を行ないます

手動送信

Eタイプ電話機を使って接続されているファクシミリから原稿を送信します。



 1	<p>原稿をファクシミリにセットします。</p> <p>➔ 原稿のセットのしかたについては、接続されているファクシミリの操作説明書をご覧ください。</p>
 2	<p>相手へ電話をかけます。または相手先から電話がかかったときはEタイプ電話機の手動受信の受話器をとって電話に出ます。</p> <p>➔ 相手がファクシミリを自動受信にセットしているときは、「ピー」という音が聞こえます。そのまま次の操作へ進んでください。また相手が手動受信にセットしているときは、相手にファクシミリの「スタート」ボタンを押してもらい、「ピー」という音が聞こえてから次の操作へ進んでください。</p> <div data-bbox="960 705 1234 859"><p>外線 7582111</p><p>または</p><p>外線</p></div>
 3	<p>ファクス ボタンを押します。</p> <p>➔ 電話がファクシミリに接続されるまでファクスランプが赤色に早く点滅します。</p> <div data-bbox="960 1226 1234 1275"><p>FAX 切替 7582111</p></div> <p>着信時は電話番号は表示されません。また電話番号の代わりに通話料金が表示されることもあります。</p>
 4	<p>Eタイプ電話機の手動受信の受話器をもちます。</p> <div data-bbox="960 1487 1234 1535"><p>FAX 切替 7582111</p></div>

 <p>5</p>	<p>ファクシミリに付属している電話機を受話器をあげます。 （ファクシミリに電話機が付いていない場合は、この操作をとばします。）</p> <p>④ 電話がファクシミリに接続されファクスランプが赤色に点滅します。</p>	<p>FAX 接続 7582111</p>
 <p>6</p>	<p>ファクシミリの「スタート」ボタンを押します。送信がスタートします。</p>	<p>FAX 接続 7582111</p>
 <p>7</p>	<p>ファクシミリに付属している電話機を受話器をもどします。 （ファクシミリに電話機が付いていない場合は、この操作は不要です。）</p> <p>④ 送信が終了するとファクシミリランプが消え、通話前の表示にもどります。</p>	<p>FAX 接続 7582111</p> <p>↓</p> <p>14 17-22</p>

ご注意

- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ2でEタイプ電話機の代わりにファクシミリ付属電話機から電話をかけてファクシミリを送信することもできます。その場合は、ステップ6へ進んでください。
- お使いのファクシミリに電話機が付いている場合、ステップ4でEタイプ電話機を受話器をあげたままにしているときは、ファクシミリ送信後通話状態にもどります。
- 通話中誤って「ファクス」ボタンを押して通話がとぎれてしまったときは、もう一度「ファクス」ボタンを押して通話を再開します。
- ファクスランプ点滅中は、スピーカから話中呼出、話中着信、長時間通話警報などの呼出音、警告音は鳴りません。

ファクシミリを操作して送信を行いません

自動送信

Eタイプ電話機に接続されているファクシミリを操作して通常のファクシミリの自動送信をすることもできます。この操作は、ファクシミリの送信操作手順に従って行ってください。



- お使いのファクシミリがキャノファクスの場合、基本的な送信操作の流れは下記ようになりますが、機種によって異なることもありますので、詳しくはファクシミリの操作説明書をご覧ください。
 1. 原稿をセットする。
 2. ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはテンキーを使って相手の電話番号をダイヤルする。
 3. **スタート** ボタンを押す。(テンキー入力時のみ)
- ファクシミリ送信中は、ファクスランプが赤色の点滅になり、Eタイプ電話機の表示が次のようになります。

FAX 接続 7582111

PART 9

データ設定

これらのデータは本装置を設置する時にお客様の要望に応じて設置工事担当者が設定いたします。

したがって通常この操作は不要です。設定内容を変更したい時のみご利用ください。また、内容、用語等に不明な点がありましたら工事店または販売店の担当者へご相談ください。

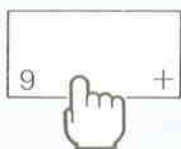
運用データの設定

本機が持ついろいろな機能の選択、また運用上必要なデータを設定する操作です。



例 保留メロディを1(メヌエット)から2(ノクターン)に変更するとき

<p>ファンクション</p>	<p>1</p> <p>ファンクション ボタンを押して機能表示ランプを図の位置にもっていきます。</p>	
<p>設定</p>	<p>2</p> <p>設定 の下の選択ボタンを押します。</p> <p>→ スピーカから「ツー・ツー」音が聞こえます。</p>	
	<p>3</p> <p>ダイヤルボタンの★を押します。</p>	
	<p>4</p> <p>プログラムNo. 001をダイヤルボタンで入力します。</p>	



5

プログラムNo. 001の内容を参照してあてはまる桁に数値を入れていきます。数値の入れ方は次のようにします。

- ① ワンタッチボタンの ボタンを押してカーソルを移動させます。
+を押すと右に、-を押すと左にカーソルが移動します。
- ② ダイヤルボタンを使って、数値を入力します。
スペースを入れる場合は、 ボタンを押してください。
- ③ さらに、設定する桁があるときは、①から繰り返します。

001 110.0000.000.1

設定



6

もう一度 の下の選択ボタンを押します。

14 17-22

ご注意

- 6の操作の前にダイヤルの*を押すと、次のプログラムが表示されます。
複数のデータ設定を行う際に便利です。
- プログラムNo.を間違えて入力した場合は、*を押してから入力してください。
- 続けて異なるプログラムNo.の数値を変更する場合は、5の操作の次に8の操作にもどってください。

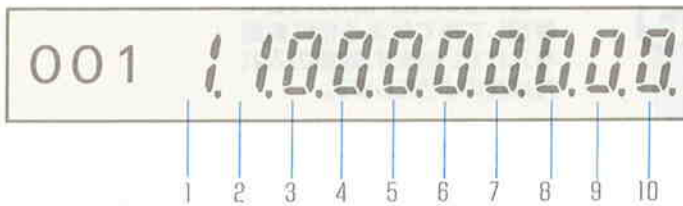
運用データ項目

1

システム全体のデータ

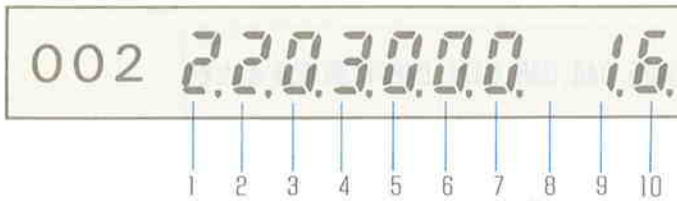
プログラムNo. 001

システム全体の機能の設定を行ないます。



1	保留の警告音を	1…鳴らす	0…鳴らさない
2	長時間通話の警告音を	1…鳴らす	0…鳴らさない
3	ドアホン構内放送の呼び出しの前に予告音を	1…鳴らす	0…鳴らさない
4	音声応答	オプションを追加すると自動設定されますので操作は不要です。	
5	会議通話	オプションを追加すると自動設定されますので操作は不要です。	
6	ドアホン1を	1…接続している	0…接続していない
7	ドアホン2を	1…接続している	0…接続していない
8	構内放送ベル拡声を	1…する	0…しない
9	□ILを一定時間(20秒)で	1…解除する	0…解除しない
10	保留メロディの種類	0…メロディ1(メヌエット)	1…メロディ2(ノクターン)

システム全体の機能の設定を行ないます。



1	PB信号送出長	1~3(×100ms)
2	マスター電話機端子番号	2~9
3	PBX外線呼出番号	0~9
4	ポーズ時間	0~3(秒)
5	センサー	0…未使用 1…警報 2…ドア1着信
6	予備	この数値は変更しないでください。
7	着信音と着信音の間の無音時間を	0…通常に設定する 1…長めに設定する
8	ベル拡声使用電話機端子番号	2~9 (使用しないときはスペースを入れます)
9	オートリピートの回数を	1~9(×10回)
10	曜日	1…月曜 2…火曜 3…水曜 4…木曜 5…金曜 6…土曜 0…日曜

3

発信規制における特定区域の設定

プログラムNO. 004～007

発信規制(73ページ)でクラス2「特定区域を除く市外電話がかけられません。」を選択した場合、その特定区域をここで設定します。特定区域の設定は市外局番で行います。

例：特定市外局番を0425、044、045、0471、0487に設定するとき

004 42.44.45.47.48.

市外局番の0を除いた上2桁を設定します(千葉0472の場合は“47”、東京03の場合は“30(スペース)”)のように設定)。プログラムNO. 005～007にも同様に設定することができ最大20カ所の特定市外局番を入力できます。

4

“内線” “外線” 表示の有無

プログラム No. 008

通話のとき漢字ディスプレイに表示される“内線”と“外線”を消去することができます。

008 0.

1

“内線” “外線” の表示を

1…消去する

0…表示する

5

外線別データ

プログラム No. 010～013

各外線のデータを登録します。プログラムNO. と各外線との対応はつぎの通りです。

外線1について設定したいときは……プログラムNO.010

外線2について設定したいときは……プログラムNO.011

外線3について設定したいときは……プログラムNO.012

外線4について設定したいときは……プログラムNO.013

010 0.2.1.2.0.2.0.1.0.

1 2 3 4 5 6 7 8 9

1	回線種別	0…外線がNTT回線に直接接続されているとき(リバースあり) 1…外線がNTT回線に直接接続されているとき(リバースなし、CES回線等) 2…外線が構内交換機(PBX)に接続されているとき(リバースあり) 3…外線が構内交換機(PBX)に接続されているとき(リバースなし) スペース…外線が何にも接続されていないとき
2	ダイヤル方式	0…トーン回線に接続するとき 1…パルス回線(10pps)に接続するとき 2…パルス回線(20pps)に接続するとき
3	外線着信音の種類	1…着信音1 2…着信音2
4	集中着信をする電話機の端子番号	0～9
5	DILを	1…する 0…しない
6	DILをする電話機の端子番号	0～9
7	開放した回線を再び捕捉するまでの必要時間	0…1.5秒 1…2.5秒
8	外線発信の可/不可	0…発信不可 1…発信可
9	NCC発信の可/不可	0…発信不可 1…発信可

***リバースについて**

ご使用になる外線がリバースありかリバースなしかの設定については工事担当者または販売店の担当者へご相談ください。

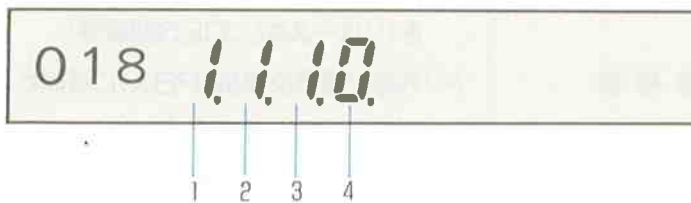
6

システム全体のデータ

プログラム No.

018

システム全体の機能の設定を行ないます。



1	転送電話の通話レベルを	1…上げる	0…上げない
2	転送音を	1…鳴らす	0…鳴らさない
3	DP送出時のダイヤル送出音を	1…鳴らす	1…鳴らさない
4	主装置に接続されているファクシミリの呼出し信号*	0…Normal	1…High

* 万一、ファクシミリの自動着信ができないときにこの設定を変えます。

7

電話機別データ

プログラム No. 020～029

各電話機ごとのデータを登録します。

プログラムNO. と各電話機との対応は次の通りです。

主装置の端子番号0に接続してある

電話機について設定したいときは……プログラムNo. 020

主装置の端子番号1に接続してある

電話機について設定したいときは……プログラムNo. 021

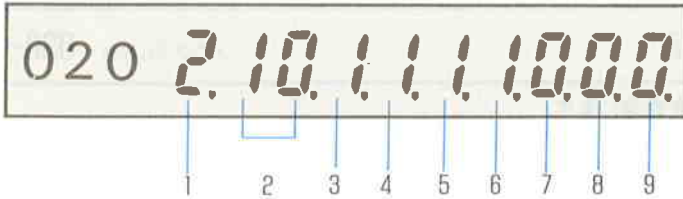
⋮

⋮

主装置の端子番号9に接続してある

電話機について設定したいときは……プログラムNo. 029

※端子番号を調べるには(→P.71)



1	接続する電話機が	0…パルス回線用の単独電話機の時 1…トーン回線用の単独電話機の時 2…パルス回線用のFAXの時 3…トーン回線用のFAXの時 4…A.B.C.D.タイプのいずれかの時 スペース…ない時
2	内線番号	2桁(10~99)で設定します
3	外線1に電話がかかってきたとき着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない
4	外線2に電話がかかってきたとき着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない。
5	外線3に電話がかかってきたとき着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない
6	外線4に電話がかかってきたとき着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない
7	発信規制(73ページ)でのクラス設定	クラス0~5
8	ドアホン1からの着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない
9	ドアホン2からの着信音を	1…鳴らす 0…鳴らさない

各電話機ごとのデータを登録します。
プログラムNo.と各電話機との対応は次の通りです。

主装置の端子番号0に接続してある
電話機について設定したいときは……プログラムNo.030
主装置の端子番号1に接続してある
電話機について設定したいときは……プログラムNo.031

⋮

⋮

主装置の端子番号9に接続してある
電話機について設定したいときは……プログラムNo.039

※端子番号を調べるには(→ P. 71)



1	料金メーター表示の料金単位	10円単位で10円から99990円まで (入力するときは下1桁の0をとります)
2	通話料金表示を	1…する 0…しない
3	受話器を上げたときに	0…内線につながる 1…外線につながる
4	ハンズフリー機のマイクの スイッチを通常	0…オフにする 1…オンにする
5	専用電話機種別	0…A～Dタイプ電話機 1…Eタイプ電話機—接続するファクシミリに電 話機が付いている場合(2 W接続) 2…Eタイプ電話機—接続するファクシミリに電 話機が付いていない場合 (4W接続)

2005



PART

その他

10

停電のとき

- 停電時には、停電用に指定（設置時に指定）されている電話機でのみ外線の発信と着信ができます。その際、ダイヤルボタン以外の機能ボタンは使えません。
停電用に指定できる電話機は単独電話機とDタイプ電話機のみです。
- Dタイプ（停電専用機）のディスプレイには何も表示されません。
- 通話中に停電になった場合および停電が復旧した場合には通話は切れます。
- 停電が1分以上続いた場合、留守応答のメッセージは消去され、着信モードが自動的に通常着信に切替ります。
- Dタイプ（停電専用機）の電話機は、あらかじめダイヤルモードを切替えておく必要があります。
- Eタイプ電話機のファクシミリ自動受信モードの設定は、停電の直前の状態にもどります。

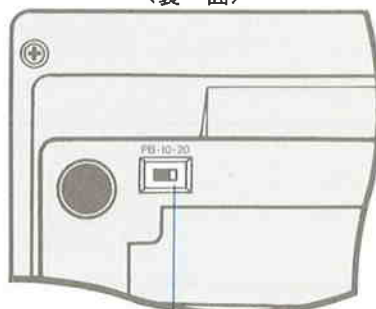
Dタイプ電話機が接続されている回線（外線1または2）をダイヤルホンで契約しているとき

●ダイヤルモード切替スイッチを“10”PPSか“20”PPSにセットします。20PPSは10PPSよりダイヤルのスピードが速く便利ですが、使用できない地域がありますのでご注意ください。（出荷時は20PPSにセットしてあります）

Dタイプ電話機が接続されている回線（外線1または2）をプッシュホンで契約しているとき

●ダイヤルモード切替スイッチを“PB”にセットします。

〈裏面〉



ダイヤルモード切替スイッチ

故障かなと 思うまえに

下記のことを確認して販売店にご相談ください。

1. 主装置の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
2. 電話機のコードが抜けていませんか？
3. ローゼットから接続コードが抜けていませんか？
4. 操作は正しく行なわれましたか？

さくいん

【ア】

アラーム	P. 83
運用データの設定	P. 129
Aタイプ電話機	P. 7
NCC回線	P. 22・115
NCC特番	P. 22・117
オートリピートダイヤル	P. 32
音声メッセージ録音	P. 35
音声呼出	P. 35

【カ】

会議通話	P. 65
漢字ディスプレイ	P. 18
外線応答1	P. 34
外線応答2	P. 34
外線・外線転送1	P. 42
外線・外線転送2	P. 43
外線システム保留	P. 39
外線自己保留	P. 40
外線・内線転送1	P. 44
外線・内線転送2	P. 46
外線発信1	P. 21
外線発信2	P. 22
外線別着信音	P. 77
外線ボタン	P. 18
外線予約	P. 31
外線ランプ	P. 18
キーイントーン	P. 72
機能表示パネル	P. 18
機能表示ランプ	P. 18
キャンブオン	P. 31・55
共通短縮ダイヤル	P. 26
クラス番号	P. 73
構内放送	P. 88

【サ】

Cタイプ電話機	P. 7
自動受信1	P. 123
自動受信2	P. 124

自動送信	P. 127
集中着信	P. 74
主装置	P. 14
手動受信	P. 121
手動送信	P. 125
受話音量調整ボタン	P. 16
受話器	P. 16
数字ディスプレイ	P. 18
スピーカ	P. 16
スピーカ音量調整ボリューム	P. 16
スピーカボタン	P. 16
スピーカランプ	P. 16
センサーアラーム	P. 87
選択ボタン	P. 18

【タ】

端子番号	P. 71
短縮ダイヤル	P. 26
単独電話機	P. 7・8
端末設備接続(変更)請求書	P. 9・11
ダイヤルボタン	P. 16
ダイヤルモード	P. 139
ダイレクト・イン・ライン	P. 75
着信音量調整ボリューム	P. 16
着信鳴動指定	P. 76
着信モード切替	P. 139
長時間通話警報	P. 77
通話料金表示	P. 97
停電専用機	P. 7・139
転送	P. 41
Dタイプ電話機	P. 7
ディスプレイ濃度調整器	P. 16
電源スイッチ	P. 14
電源ランプ	P. 14
電卓	P. 89
トーン信号	P. 72
時計	P. 105
取消ボタン	P. 16
ドアホン	P. 85
独自短縮ダイヤル	P. 26

【ナ】

内線一斉呼出	P. 52
内線応答	P. 57
内線・外線転送	P. 62
内線システム保留	P. 58
内線代理応答	P. 57
内線・内線転送1	P. 59
内線・内線転送2	P. 61
内線発信	P. 49
内線番号表示	P. 71
内線予約	P. 55

【ハ】

発信規制	P. 73
ハンズフリー機	P. 7・79
ハンズフリー通話	P. 79
パルス回線	P. 72
標準機ディスプレイあり	P. 7
標準機ディスプレイなし	P. 7
Bタイプ電話機	P. 7
PB信号送出	P. 72
FAX	P. 7
FAX転送	P. 47
ファクスボタン	P. 18
ファクスランプ	P. 18
ファンクションボタン	P. 18
不在設定	P. 66
不在転送	P. 68
フッキング	P. 43
フックボタン	P. 16
フレキシブルアサイン	P. 80
ベル拡声	P. 78
保留警報	P. 78
保留ボタン	P. 16
保留メロディ	P. 39
保留ランプ	P. 16

【マ】

マスター電話機	P. 8
メッセージウェイト	P. 53
メッセージ番号	P. 35
メモダイヤル	P. 30

【ヤ】

曜日	P. 105
----	--------

【ラ】

リダイヤル	P. 29
リダイヤルボタン	P. 16
リバース	P. 109
料金計算・表示	P. 102
料金集計表示	P. 98
料金単位	P. 107
料金メータ	P. 18
料金メータ表示	P. 97
料金ランク	P. 106
留守応答	P. 35

【ワ】

話中着信	P. 74
話中呼出	P. 54
ワンタッチダイヤル	P. 23
ワンタッチダイヤルボタン	P. 16

主な仕様

主装置

外線	外線数	最大4本
	収容回線	NTT加入電話回線・PBX内線・CES回線*
	ダイヤル方式	DP・PBのいずれも可 混合使用も可
内線	専用電話機配線方式	4線2対スター配線
	内線通話路	時分割PCM方式(ノンブロッキング方式)**
	専用電話機容量	8台(内2台はオプション)
	ファクシミリまたは単独電話機容量	2台(内1台はオプション)
	ドアホン容量	2個(オプション)にて増設
	ドア・カメラコントロール線	1本(ドアホンと同一オプション)
	構内放送/ベル拡声容量	1個(オプション) アンプコントロール付
	短縮ダイヤル容量	共通使用80個 各専用電話機毎10個
	ワンタッチダイヤル容量	各専用電話機毎10個(ハンズフリー機は9個)
寸法	510(W)×78(D)×355(H)mm	
重量	4.6kg	
消費電力	50W(最大)	
使用電源	AC100V±10%(仕向地 国内)	

*CES:事業所集団電話用交換機

**以下の場合を除く

▲PB単独電話によるダイヤル中での、PB単独電話の発信、転送時。

▲外線・外線転送時のPB単独電話の発信、転送時。

専用電話機

専用電話機A (標準)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	805g
	その他	
専用電話機B (LCD表示付)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	835g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ
専用電話機C (ハンズ・フリー)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	850g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ 外線・内線ハンズフリー
専用電話機D (停電用)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	865g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ
専用電話機E (FAXアダプター付)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	1kg
	その他	3桁文字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ